5. 応用操作

5-1. 「IPView」を使用したネットワークカメラの操作・設定

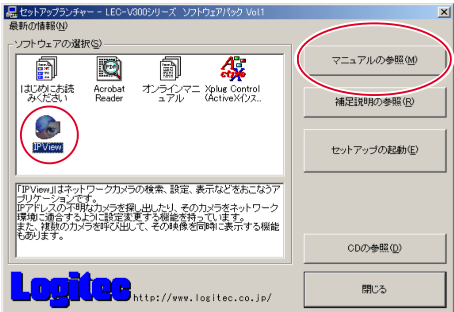
5-1-1. 「IPView」のインストール

「IPView」はネットワークカメラの設定、検索、一覧表示、静止画の保存を行う管理者用のアプリケーションです。(Windowsのみ)

ポイント☞ **システム環境条件をご確認の上、インストールを行ってください。**

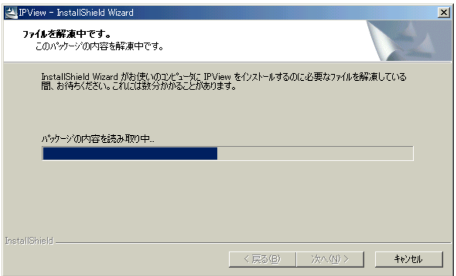
ポイント☞ **Windows 2000 Professional,Windows XP Professional,にインストールする場合は、必ずユーザー権限をアドミニストレーターにした後、インストールを行ってください。**

① **「ソフトウェアパック」CD-ROMをCD-ROMドライブに挿入すると右の画面が表示されます。**
表示されない場合は、CD-ROM内の[START]もしくは[START.EXE]ファイルをダブルクリックしてください。



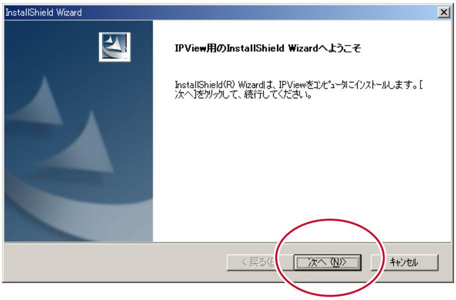
② **「IPView(ユーティリティソフト)」をクリックした後、「セットアップの起動」のボタンをクリックしてください。**

③ **右の画面が表示され、インストーラが起動します。**

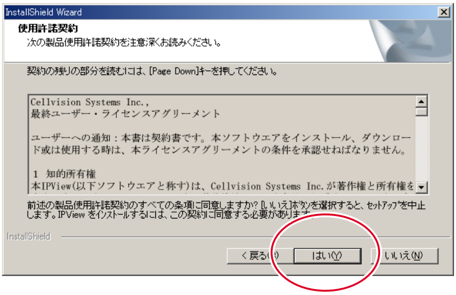


重要 **既に「IPView」がインストールされている場合、アンインストールの画面になります。アンインストールする場合は「7-2.「IPView」のアンインストール方法」をご参照ください。**

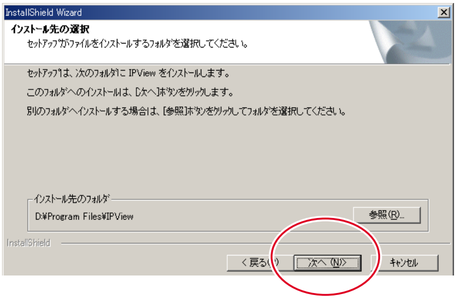
④　「ようこそ」の画面が表示されますので「次へ(N)」をクリックします。



⑤　次に使用承諾契約が表示されますので、契約内容に同意する場合は「はい(Y)」をクリックします。
同意しない場合は「いいえ(N)」をクリックして、インストール作業を中断してください。

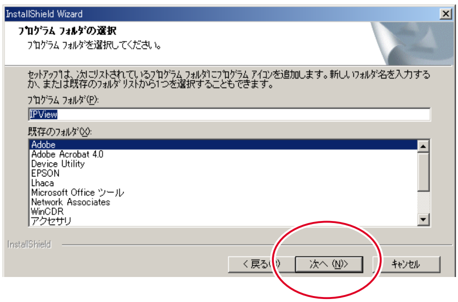


⑥　次にインストール先の選択が表示されますので、[IPView]をインストールする場所を指定し、「次へ(N)」をクリックします。
インストール先を変更するときは、「参照(B)」をクリックして変更します。

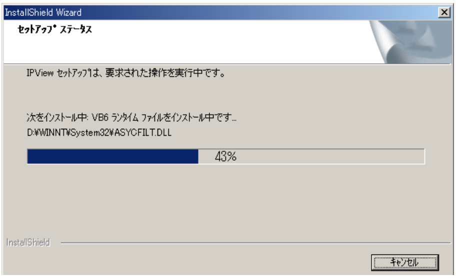


ポイント☞　**標準のインストール先は、[C:¥ProgramFiles¥IPView]となります。**

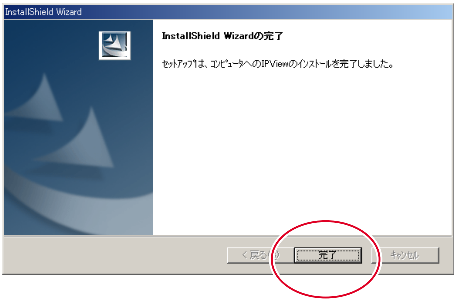
⑦　スタートメニューに登録する名前を指定して「次へ(N)」をクリックします。



⑧　ファイルのコピーが開始されますので、他の作業は行わないでください。



⑨　次の画面が出ましたら「完了」をクリックしてください。
インストールは完了です。



ポイント☞　アンインストールする場合は「7-2.「IPView」のアンインストール方法」をご参照ください。

5-1-2. 「IPView」の起動

「IPView」を使ってカメラのセットアップを簡単に行うことができます。



① [スタート] ー [プログラム] ー [IPView]を選択してください。「IPView」が起動してログイン画面が現れます。

ユーザーID：admin

パスワードの入力は、最初は必要ありません。「admin」と入力し、「OK」をクリックするとメイン画面が表示されます。

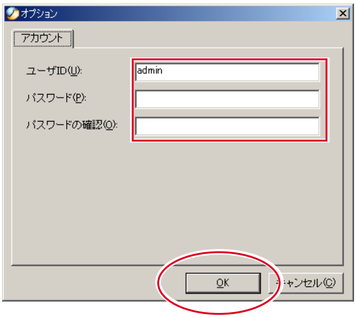
パスワードの変更

初めて「IPView」を起動した時に、ユーザーIDとパスワードを設定しておくことを強くお勧めします。一度設定しておくと、次回からはそのユーザーIDとパスワードを入力した人しか「IPView」を起動することができなくなり、外部の不正な侵入者からのアクセスを防ぐことができます。

① 「IPView」を起動するとログイン画面が表示されるので、デフォルト設定のユーザーID「admin」を入力して「OK」をクリックしてください。

② ユーザーIDとパスワードを変更するには、「ツール」メニュー ー「オプション」を選択してください。右のようにオプション設定画面が表示されます。ここで新しい「ユーザーID」と「パスワード」を入力します。パスワードの確認のために、パスワードの確認の欄にも同じパスワードを入力してください。全ての欄が入力できたら「OK」をクリックしてください。

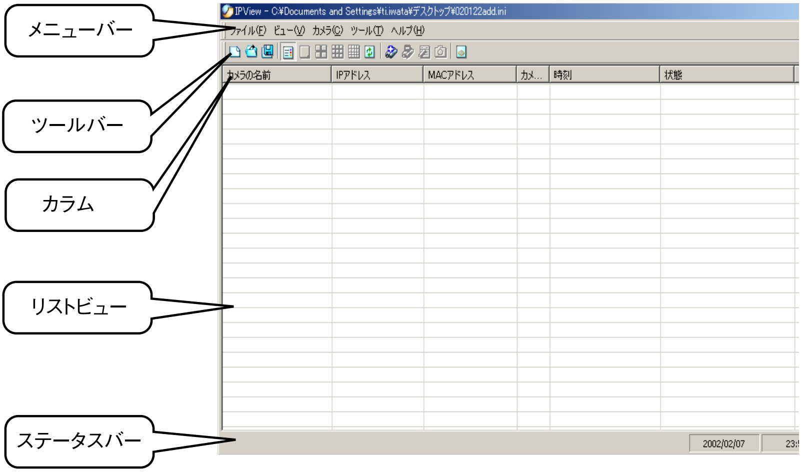




②　メイン画面

メインウインドウは「IPView」の操作の基本となる画面です。

画面エリアの名称

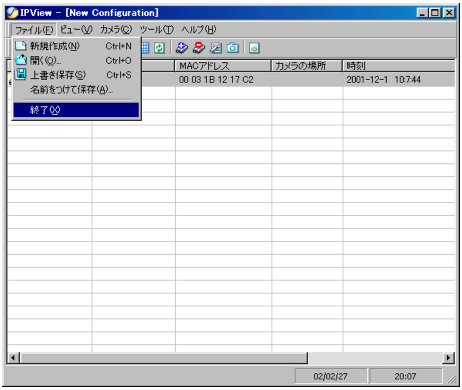




工場出荷時点では全てのネットワークカメラに同一のIP アドレス(192.168.0.20)が設定されています。同時に複数のLEC-V300 シリーズをネットワークに接続して電源投入されますと、IP アドレスの重複がおこり、正しいアクセスができません。IP アドレスの設定を行うときは必ず1台ずつ個別に接続して、行ってください。IP アドレスの重複が起こった場合は、しばらく時間をおくか、ネットワークの全ての機器を再起動しなければ正しくアクセスできない場合がありますのでご注意ください。

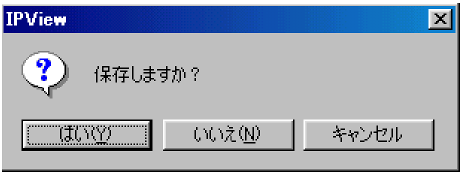
5-1-3. 「IPView」の終了

① 「IPView」を終了するには[ファイル(F)]メニュー ー[終了]を選択するかウィンドウの「閉じる」のボタンをクリックします。

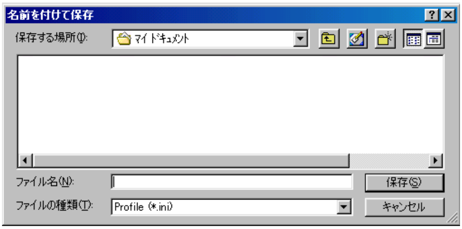


② [保存しますか？]のダイアログボックスが表示されます。

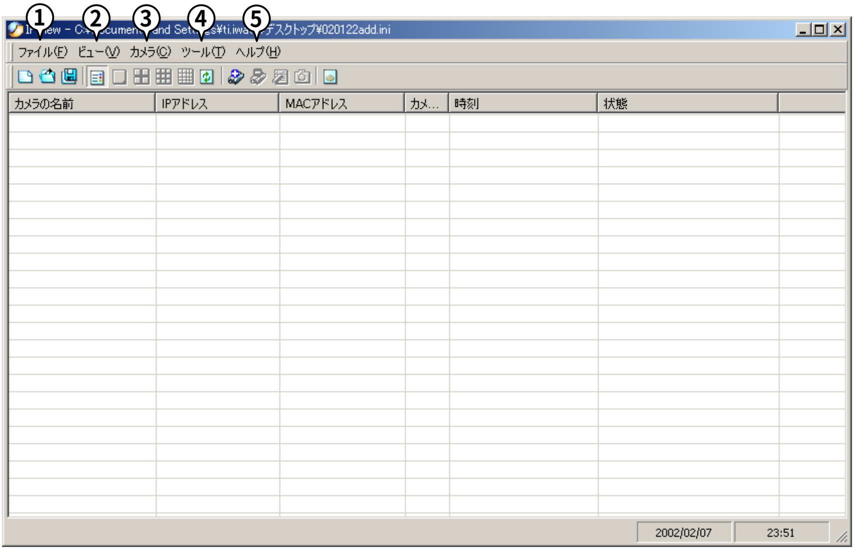
- カメラの登録や設定情報を保存する場合は「はい(Y)」をクリックしてください。
- 保存せずに終了する場合は「いいえ(N)」をクリックしてください。
- 「IPView」を終了しない場合は「キャンセル」をクリックしてください。



③ 「はい」をクリックすると[名前を付けて保存(A)]ダイアログボックスが表示されます。保存場所を指定して、ファイル名入力欄に適切な名前を入力して「保存(S)」をクリックしてください。



5-1-4. メニュー操作の説明



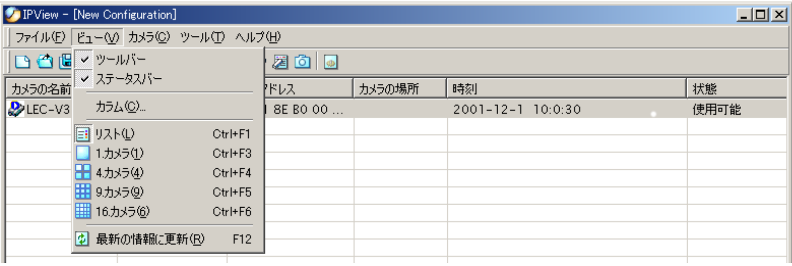
① ファイル(F)メニュー

「ファイル(F)」メニューは「終了(X)」を選択すると本プログラムを終了できます。
ネットワークカメラの登録情報と「新規作成」「開く」「上書き保存」「名前を付けて保存」及び「IPView」の終了ができます。



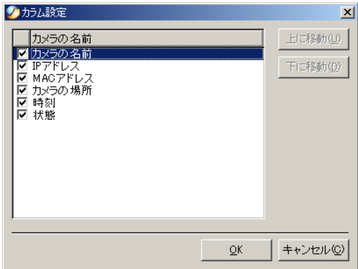
② ビュー(V)メニュー

「ツールバー」「ステータスバー」「カラム」「リスト」「1カメラ」「4カメラ」「9カメラ」「16カメラ」「最新の情報に更新」が選択できます。



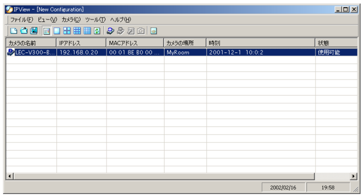
• カラム(C)

「カラム(C)」を選択したときは、次のような画面が表示され、リスト画面の表の各項目の表示/非表示を選択することができます。



• リスト(L)

「リスト(L)」を選択すると全てのネットワークカメラを一覧することができます。またカメラの名前、IP アドレスやユーザーID や設置位置などを一覧して把握することができます。



• 最新の情報に更新(R)

「最新の情報に更新(R)」を選択すると「リスト」表示を最新の情報に更新することができます。

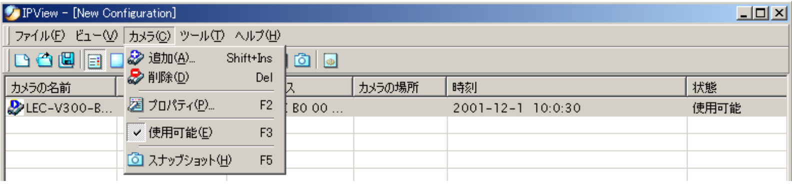
ポイント☞ カメラを選択した状態でマウスの右ボタンをクリックすると、センシティブメニューを呼び出すことができます。各カメラの位置でそれぞれのカメラの設定を変更することができます。
※詳細は、「5-3.ネットワークカメラのプロパティ設定」をご参照ください。

ポイント☞ リスト上の目的のネットワークカメラをダブルクリックするとそのカメラのプロパティを変更することができます。
※詳細は、「5-3.ネットワークカメラのプロパティ設定」をご参照ください。

ポイント☞ ネットワークカメラのリストを更新する場合には、「最新の情報に更新する(R)」ボタンをクリックすることでも現在の最新の接続状況を表示させることができます。

③ カメラ(C)メニュー

「カメラ(C)」メニューはカメラのオプションを設定する項目が選択できます。「追加」「削除」「プロパティ」「使用可能」「スナップショット」が選択できます。



- **追加**

「追加」を選択すると、新しくカメラを追加することができます。
※ 詳細は、「5-1-5. IP アドレスの設定手順」をご参照ください。

- **削除**



「削除」はリストに追加したカメラを削除することができます。リストより削除するカメラを選択し、「削除」を選択すると「カメラを削除しますか？」のダイアログボックスが表示されます。
「はい」をクリックすると削除され、「いいえ」をクリックすると元の状態に戻ります。

- **プロパティ**

「プロパティ」はカメラの設定・変更することができます。
※ 詳細は、「5-3. ネットワークカメラのプロパティ設定」をご参照ください。

- **使用可能**

「使用可能」はリストビューで選択したカメラの状態を表示・変更することができます。「使用可能」に「チェックマーク」があると、カメラが使用可能な状態です。「チェックマーク」がないと、カメラに接続不能な状態です。「チェックマーク」をクリックするとカメラの状態を変更することができます。

ポイント☞

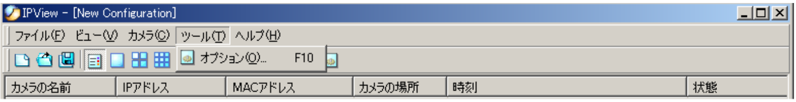
- リストビューにカメラの状態が表示されます。「状態」の項目に「使用可能/使用不能」の表示が出ます。
- 「カメラの名前」にあるカメラのアイコン表示が、「使用可能」の場合は「」になり、「使用不能」の場合は「」になります。

- **スナップショット**

「スナップショット」を選択すると静止画面を保存することができます。
※ 詳細は、「5-2-2. 静止画を保存する」をご参照ください。

④　ツール（T）メニュー

「ツール（T）」メニューはオプションが選択できます。管理者はこのオプションよりユーザーIDやパスワードの変更などが可能です。



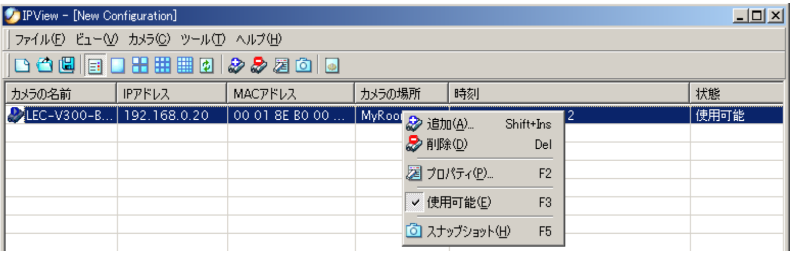
⑤　ヘルプ（H）メニュー

「ヘルプ（H）」メニューは「ヘルプ」と「バージョン情報」が選択できます。HELP形式で作られた操作方法などを表示させることができます。

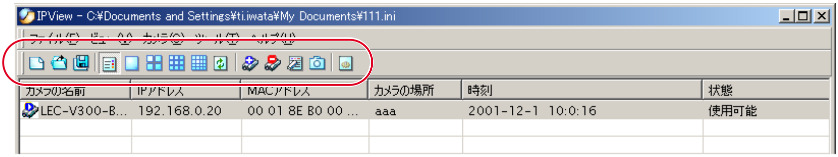


センシティブメニュー

リスト表示の際に、目的のネットワークカメラをクリック選択した状態でマウスの右ボタンをクリックすると、メニュー画面が表示されます（センシティブメニューと呼びます）。このメニューより「追加」「削除」「プロパティ」「使用可能」「スナップショット」を選択することができます。



ツールバーアイコンの説明



アイコン	機能	キーボードショートカット
	新規作成（N）	Ctrl+N
	開く（O）	Ctrl+O
	上書き保存（S）	Ctrl+S
	リストビュー（L）	Ctrl+F1
	1カメラ（1）	Ctrl+F3
	4カメラ（4）	Ctrl+F4
	9カメラ（9）	Ctrl+F5
	16カメラ（6）	Ctrl+F6
	最新の情報に更新（R）	F12
	追加（A）	Shift+Ins
	削除（D）	Del
	カメラのプロパティ（P）	F2
	スナップショット（H）	F5
	オプション（O）	F10

5-1-5.　IP アドレスの設定手順

「2-4-5. ネットワークの接続例」を参照してネットワークカメラを接続してください。

① 本機をネットワークに接続します。

重要　LEC-V300/W をお使いの方は、リアパネルの切替スイッチを LAN の位置にしてください。

② AC アダプタのプラグを本機の「DC 電源コネクタ」に差込みます。
コンセントに AC アダプタを差し込みます。

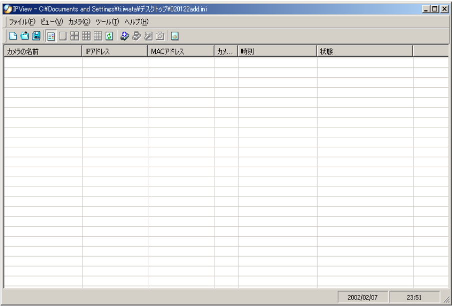
③ 設定を行うパソコンのネットワーク情報を確認します。

ポイント☞　確認方法は、「3-3-2. 作業パソコンの設定」をご参照ください。

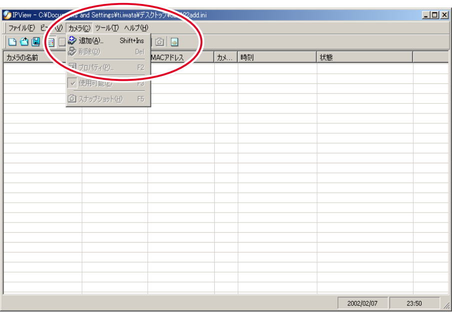
④ ネットワークカメラに設定する IP アドレス、サブネットマスクなどを決めます。

重要　会社等のネットワークに接続する場合は、ネットワーク管理者にご相談の上で割り当て、あるいは承認を得たものをご使用ください。

⑤ 設定を行うパソコンで「IPView」を起動します。



⑥ ［カメラ（C）］メニュー ー［追加(A)］を選択して、「カメラの追加」画面を表示します。

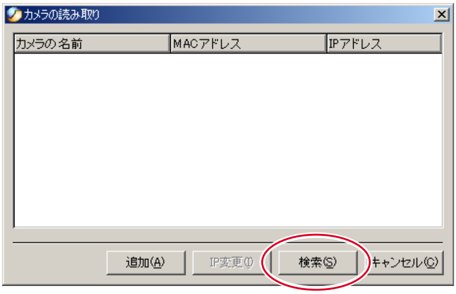


⑦ 「参照」をクリックします。



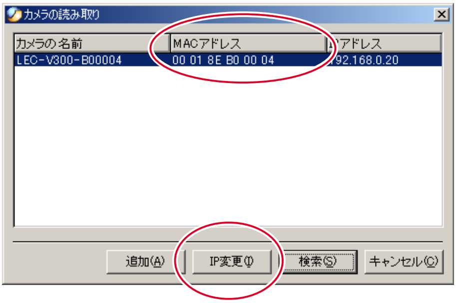
⑧　カメラの読み取り画面が表示されますので、検索ボタンをクリックします。

・ネットワークの状態によりカメラの検索に数分ほどかかる場合があります。



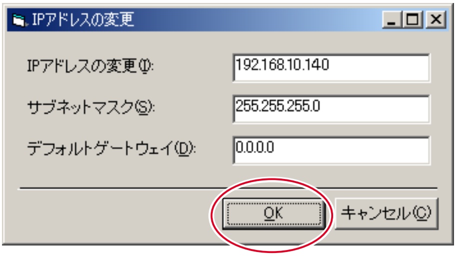
⑨　カメラの検索結果が表示されますので、本機の裏側に記載されているMACアドレスと一致しているか確認してください。カメラと選択状態で「IPの変更」をクリックします。

※「2-3-5. ネットワークカメラのボトムパネル」をご参照ください。



⑩　アドレス変更ウインドウのIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの入力欄に4つの数字（0～255）と3つのピリオドを入力し、「OK」をクリックします。

※ 必ず全ての場所にアドレスを入力してください。「デフォルトゲートウェイ」を使用しないときは「0.0.0.0」を入力してください。





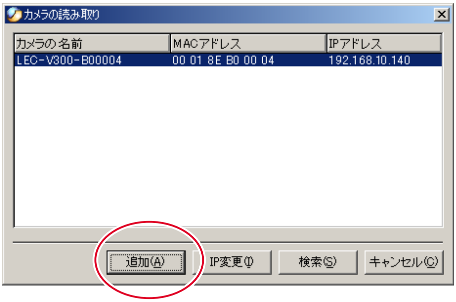
ポイント☞　例えば、設定作業パソコンが

- IPアドレス　　　　　：192.168.10.135
- サブネットマスク　　：255.255.255.0
- デフォルトゲートウェイ　：なし

の場合、192.168.10.140のように、ネットワークカメラのIPアドレスのサブネットを合わせる必要があります。サブネットとは、上記IPアドレスの下線部分です。

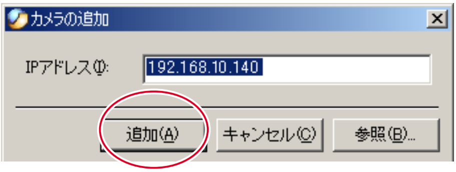
※サブネットについては、「7-15. ネットワークカメラ用語辞典」のサブネットマスクの部分ををご参照ください。

⑪　「追加」をクリックすると「カメラの追加」画面が表示されます。

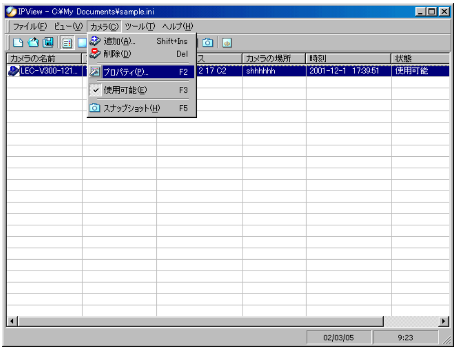


⑫　「追加」をクリックするとメイン画面の「リストビュー」に追加したカメラの情報が表示されます。

・ネットワークの状態により数分ほどかかる場合があります。

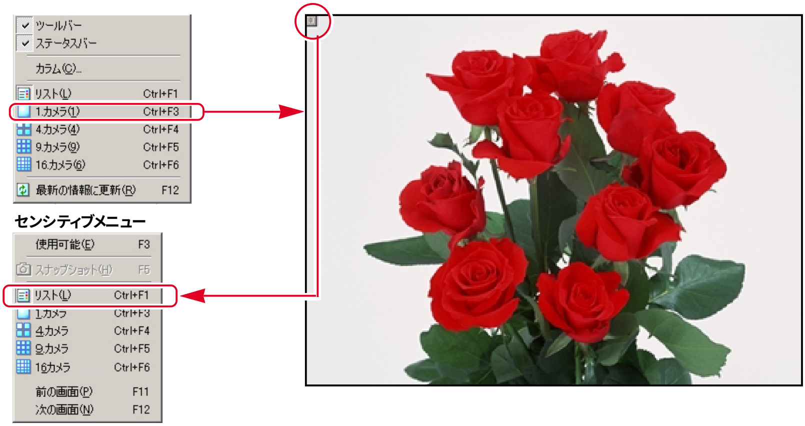


⑬　追加したカメラを選択し、[カメラ(C)]メニュー　－[プロパティ]または、ツールバーの[プロパティ]アイコンをクリックすると詳細設定が可能です。

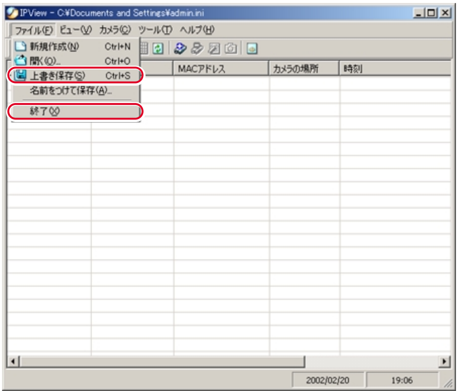


⑭　[ビュー]メニュー －[1カメラ]を選択すると、フルスクリーンでカメラの映像が表示されます。

⑮　元の画面に戻るには、左上の数字をクリックしてセンシティブメニューを表示し、[リスト]を選択します。

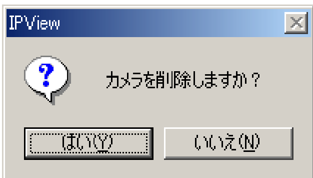


⑯　「IPView」を終了するときは、[ファイル]メニュー －[名前を付けて保存]または[上書き保存]を選択して設定状態を保存した後に、[ファイル]－[終了]を選択してください。



ネットワークカメラの削除方法

ネットワークカメラを削除したい場合は「IPView」のリスト上より削除したいネットワークカメラをクリックして選択した状態にして、「カメラ」メニュー－「削除」を選択してください。右のようにカメラ削除の確認画面が表示されますので、削除する場合は「はい」をクリックしてください。削除しない場合は「いいえ」をクリックしてください。



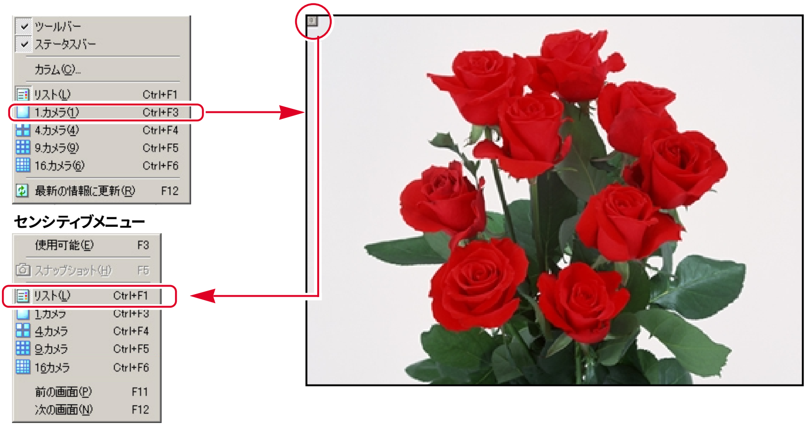
5-2.「IP View」を使った画像の確認

5-2-1. 画像を見る

重要 この操作を行うためには、ネットワークが正しく設定されている必要があります。

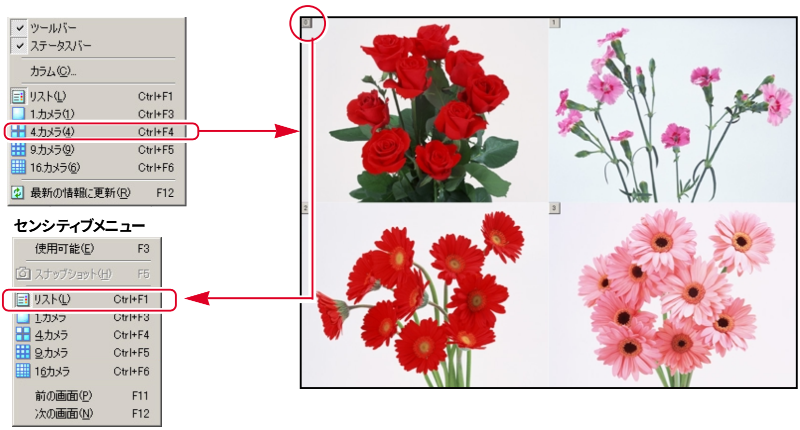
① 1画面表示

[ビュー]メニュー ー[1カメラ]を選択すると、フルスクリーンでカメラの映像が表示されます。元の画面に戻るには、左上の数字をクリックするとセンシティブメニューが表示され、[リスト]を選択すると戻ります。



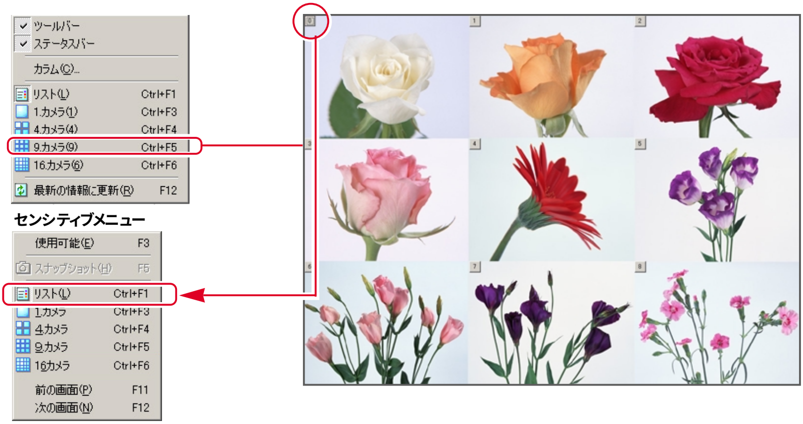
② 4画面表示

[ビュー]メニュー ー[4カメラ]を選択すると、フルスクリーンで最大4台までのカメラの映像が表示されます。元の画面に戻るには、左上の数字をクリックするとセンシティブメニューが表示され、[リスト]を選択すると戻ります。



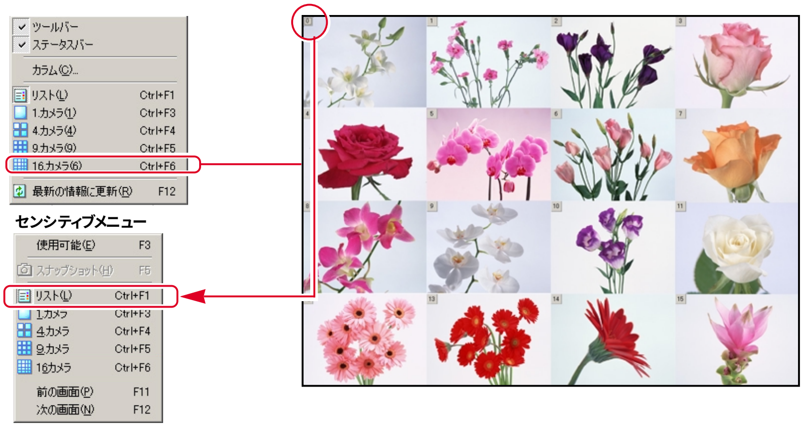
③ 9画面表示

[ビュー]メニュー ー[9カメラ]を選択すると、フルスクリーンで最大9台までのカメラの映像が表示されます。元の画面に戻るには、左上の数字をクリックするとセンシティブメニューが表示され、[リスト]を選択すると戻ります。



④ 16画面表示

[ビュー]メニュー ー[16カメラ]を選択すると、フルスクリーンで最大16台までのカメラの映像が表示されます。元の画面に戻るには、左上の数字をクリックするとセンシティブメニューが表示され、[リスト]を選択すると戻ります。



5-2-2. 静止画を保存する

① 撮影する前に、予め目的のネットワークカメラを「カメラ」メニュー ー「使用可能」にして映像画面を表示させておきます。もしカメラが有効でない場合には右のような警告画面が表示されます。



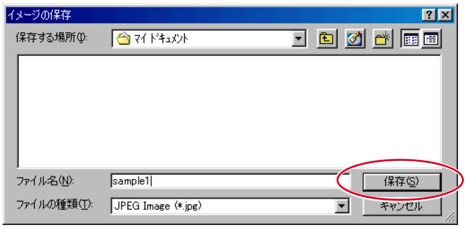
② 保存したい画像の左上の数字をクリックするとセンシティブメニューが表示されます。



③ 「スナップショット」を選択すると「イメージの保存」画面が表示されます。



④ 適切な保存場所とファイル名を指定して「保存」をクリックすると保存されます。



ポイント☞ 「カメラ」メニュー ー「スナップショット」でも同様に静止画を保存することができます。

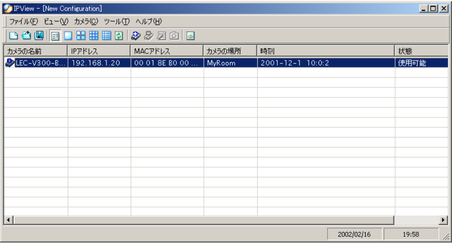
5-3. ネットワークカメラのプロパティ設定

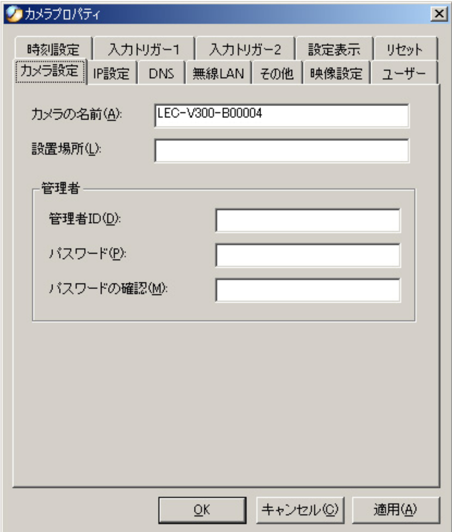
5-3-1. 起動と保存

「カメラプロパティ」を利用すると個々のカメラの設定・変更ができます。

① プロパティの起動

追加したカメラを選択し、[カメラ] メニュー ー[プロパティ]または、ツールバーの[プロパティ]アイコンをクリックすると右下のように「カメラプロパティ」画面が表示されます。



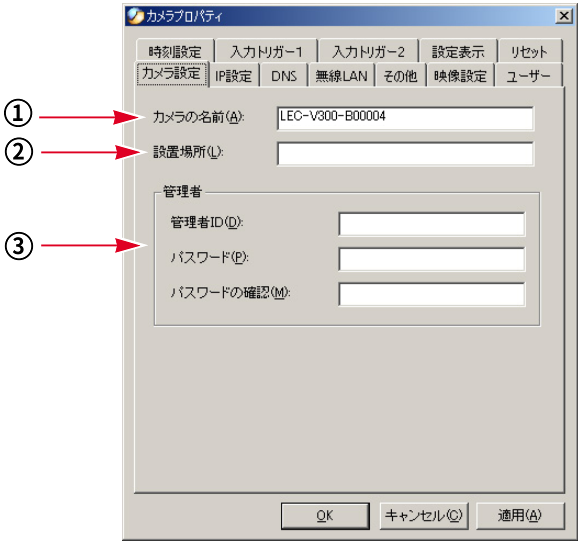


② プロパティの設定の保存

設定が全て完了してプロパティを終了する場合は、「OK」ボタンをクリックして1分ほどでカメラ本体に登録します。
「キャンセル」ボタンをクリックすると入力した数値などのデータは設定前の状態に戻ります。
「カメラプロパティ」画面を閉じずに現在の設定内容を登録する場合は、「適用」ボタンをクリックしてください。

5-3-2.　カメラ設定

ネットワークカメラの名前、設置場所、管理者のID/パスワードなどの設定ができます。



①　カメラの名前(Camera Name)

この欄には「LEC-V300シリーズ」の任意の名前を入力します。製品名を入力する必要はありません。お好きな名前をカメラにつけてください。初期設定では「LEC-V300-xxxxxx」とxの部分にMACアドレスの下6桁が入力された状態になっています。名称の最大入力文字数は半角英数文字入力で32文字までです。(使用できる文字については「7-10. 半角英数字について」をご参照ください)

②　カメラの場所(Location)

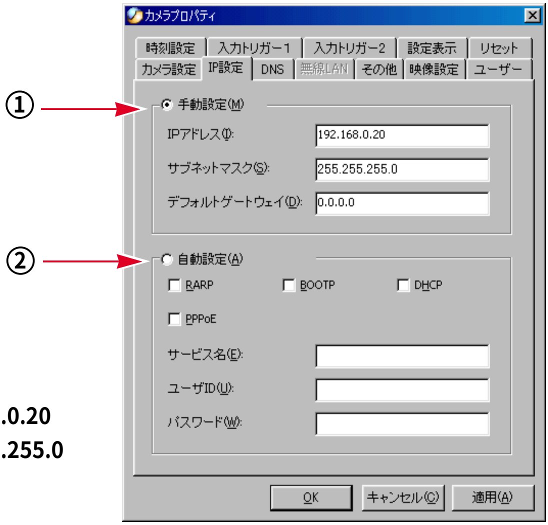
この欄には「LEC-V300シリーズ」を利用している場所・地域などを入力してください。初期設定は未記入です。最大入力文字数は半角英数文字入力で64文字までです。(使用できる文字については「7-10. 半角英数字について」をご参照ください)

③　管理者(Admin)

この欄には管理者IDとその「パスワード」を記入します。パスワードは確認のため、最初の「パスワード」記入欄と「確認用パスワード」記入欄に、必ず同じパスワードを入力してください。初期設定ではこの管理者欄は未記入のままですので、半角英数文字入力で最大文字数12文字までで管理者IDを、そしてパスワード(英数文字入力で最大文字数8文字)を入力してください。この設定はできるだけ早めに行うことをお勧めします。また、管理者IDとパスワードを設定するまでアクセス制限の機能が動作しないようになっています。(使用できる文字については「7-10. 半角英数字について」をご参照ください)

5-3-3.　IP 設定

IP アドレスの手動設定および自動取得での設定ができます。



工場出荷時

IPアドレス	**：192.168.0.20**
サブネットマスク	**：255.255.255.0**
デフォルトゲートウェイ	**：0.0.0.0**

①　手動設定（Manually Assign）

ご利用のネットワーク環境が固定的にIP アドレスを割り振るような環境の場合は、「手動入力」を選択してIP アドレス、サブネットマスクなど必要な情報を各欄に入力してください。

②　自動設定（Assign Automatically Using）

ご利用のネットワーク環境から動的なIP アドレスを割り当てる場合は「自動設定」を選択して、次の4つの中からIP アドレスの取得手順を選択します。

- **RARP（Reverse Address Resolution Protocol）**

  RARPサーバを使って、MAC アドレスからIP アドレスを取得するプロトコルです。これを使用するにはRARP サーバおよび、MAC アドレスとIP アドレスの対応表を用意しておく必要があります。詳細に関してはネットワーク管理者に確認してください。

- **BOOTP（BOOTstrap Protocol）**

  DHCP の前身のプロトコルでで BOOTP サーバから自動的にIP アドレスを取得します。ネットワーク上にBOOTP サーバを用意しておく必要があります。詳細に関してはネットワーク管理者に確認してください。

• **DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）**

ブロードバンドルータやISDNルータなど、DHCPサーバからIPアドレスなどの情報を自動的に取得します。この場合、ネットワーク上にDHCPサーバを用意しておく必要があります。

• **PPPoE（Point-to-Point Protocol over Ethernet）**

PPPはダイヤルアップ接続において、ユーザIDとパスワードを用いて認証し、接続する際に用いられるプロトコルです。PPPoEは、PPPをイーサネット上に設定するためのプロトコルです。
たとえば、ADSLモデムなどによるインターネット接続サービスをご利用の場合、ISP（Internet Service Probidaer）からIPアドレスなどの情報が割り当てられます。

• **「サービス名（プロバイダ名）」**　：ご契約されているプロバイダ名を入力ください。
半角英数文字で32文字以内で入力ください。

• **「ユーザID（認証ID）」**　：プロバイダから発行される接続認証用のIDを入力ください。

• **「パスワード」**　：プロバイダから発行される接続認証用パスワードを入力ください。

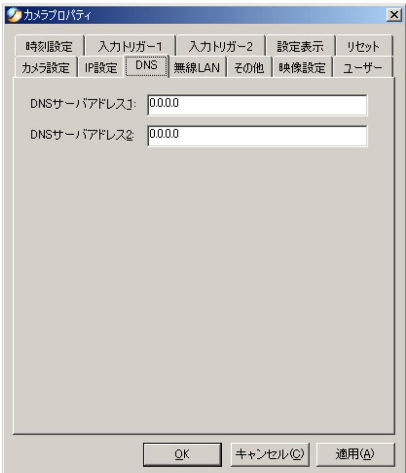
5-3-4.　DNS

「DNS」を選択すると、DNSサーバのアドレスを設定することができます。

① I/O設定でイメージをメールで送るときは、ネットワーク管理者もしくはプロバイダから指定されたDNSサーバアドレスを4つの数字（0～255）と3つのピリオドで入力してください。

② 2つめのDNSサーバアドレスがある場合は①と同様に入力してください。

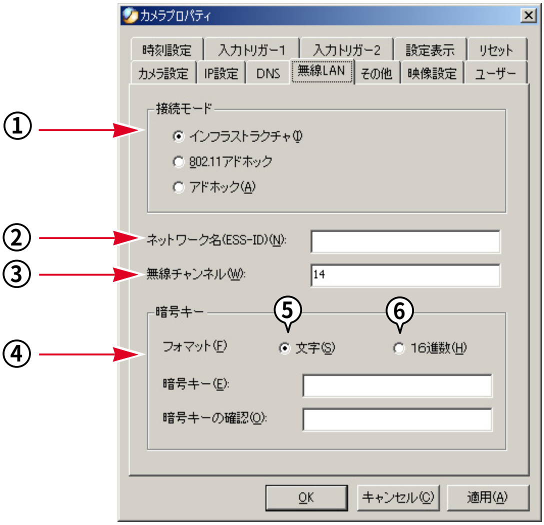
※DNSについては、「7-15. ネットワークカメラ用語辞典」をご参照ください。



注意　DNSサーバアドレスが1つの場合は“DNSサーバアドレス1”のみに入力して、“DNSサーバアドレス2”はそのままでご使用ください。

5-3-5.　無線LAN（LEC-V300/Wのみ）

無線LANの設定ができます。



①　接続モード

- 「接続モード」で無線LAN環境のタイプを決定します。インフラストラクチャモード、802.11アドホックモード、アドホックモードの3つの接続モードがあり、初期設定は「インフラストラクチャモード」が選択されています。

  ※ 詳細は、「7-12. 出荷時の設定値（工場出荷初期値）」をご参照ください。

- 無線LANの接続モードを設定したらリアパネルのLAN切替スイッチで「LAN＋WLAN」もしくは「WLAN」に設定し、ワイヤレスLANを有効にするためにリセットボタンを押して再起動をしてください。

  ※ 詳細は、「5-3-12. リセット」をご参照ください。

②　ネットワーク名

- この欄にはLEC-V300/Wをどの無線LANで利用するのかESS-ID（Extended Service Set ID）を入力します。
- ESS-IDとは、無線LANの国際標準規格IEEE802.11で固定した相手先との接続を実現するための識別データです。つまり、ESS-IDが一致している端末同士が無線通信できます。無線通信を行いたい端末同士には、同じESS-IDを設定してください。
- 初期設定ではこの欄は未記入のままです。未記入のままだと、どのアクセスポイントからでもLEC-V300/Wに接続できます（WEP機能が設定されていない場合のみ）。LEC-V300/Wを特定のアクセスポイントからだけ接続させるに

はアクセスポイントの「ESS-ID」とLEC-V300/Wの「ESS-ID」を同じに設定しておきます。名称の最大入力文字数は半角英数文字入力で32文字までです。

（使用できる文字については、「7-10. 半角英数字について」をご参照ください）

・LEC-V300/Wをアドホックモードのワークグループで接続するには「無線チャンネル」と「ESS-ID」を接続するパソコン側と同じに設定してください。

・ネットワークカメラの「アドホックモード」は「802.11 アドホックモード」と「アドホックモード」の2つのモードをサポートしています。どちらを使用するかはお使いのネットワーク環境により設定してください。また、お使いのワイヤレスネットワークのドライバーによっても、どちらのアドホックモードが使えるかが変わります。まれに両方のアドホックモードをサポートしているドライバーもあります。しかし、当製品で定義している「802.11 アドホックモード」と「アドホックモード」の呼び方は各メーカーの製品によって異なる場合がありますので、両方のアドホックモードで動作をテストして、正常に動作する方のモードをご利用下さい。

③ 無線チャンネル

無線チャンネルを直接数値入力（1～14チャンネル）します。チャンネルとは無線LAN機器（アクセスポイント、カード）とLEC-V300/Wの間で通信を行うための周波数を指します。初期設定は14チャンネルです。

注意　インフラストラクチャモードでアクセスポイントと接続するときは、チャンネルの設定は必要ありません。アクセスポイントが自動的に使用中のチャンネルを探します。

④ 暗号キー

一般的にワイヤレスネットワークは有線タイプのネットワークに比べて傍受される危険性を伴いますが、IEEE802.11b規格に基づいたWEP（Wired Equivalent Privacy）を使うことによって外部からの傍受を困難にし、有線タイプのネットワークとほぼ同等の利用条件を満たすことができます。暗号キーを有効にするには、まず無線LANにどのタイプの暗号キーが利用されているかを確認し、文字入力（ASCII）又は16進数（HEX）のチェックボックスを選択してから「暗号キー」を入力します。確認用の「暗号キーの確認」にも同じ暗号キーを入力してください。設定しない場合は何も入力しないでください。

⑤　文字入力フォーマット（ASCII）

- 64bit の暗号キー（※）を設定するには、半角英数文字を 5 文字入力します。
  ※ お使いのアクセスポイント、無線 LAN によっては 40 ビットと表記されています。

例：「ABCde」

- 128bit の暗号キーを設定するには、半角英数文字を 13 文字入力します。

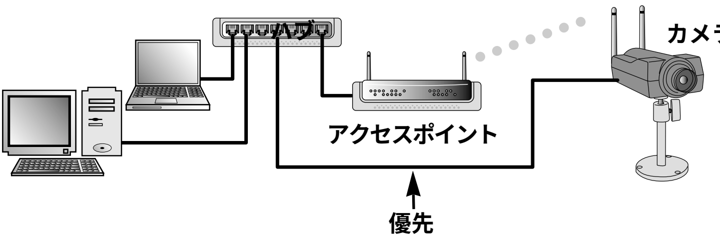
例：「abcdeFGHKLMNR」

ポイント☞　**文字入力の場合:半角英数字を入力してください。入力文字は大文字小文字の区別をします。例えば「A」と「a」は別の文字と認識しますのでご注意ください。**
※ 入力できる文字については、「7-10. 半角英数字について」をご参照ください。

⑥　16 進数入力フォーマット（HEX）

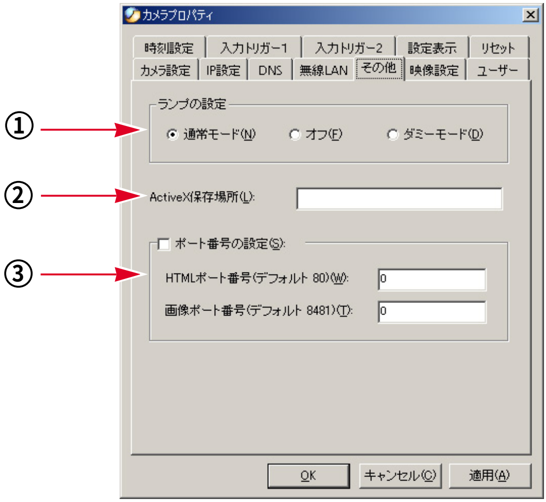
- 64bit の暗号キー（※）を設定するには、10 桁の 16 進数を入力します。128bit の暗号キーを設定するには、26 桁の 16 進数を入力します。暗号キーの確認欄には、暗号キー欄で入力した暗号を確認のためもう一度入力してください。インフラストラクチャモードでご利用の場合は、「LEC-V300/W」とアクセスポイント共に同じ物に設定してください。「802.11 アドホックモード」、又は「アドホックモード」でご利用の場合は、お使いのパソコンと同じ暗号キーを設定してください。初期設定での暗号キーは、無効になっています。有効にするには暗号キーの入力が必要です。
  ※お使いのアクセスポイント、無線 LAN によっては 40 ビットと表記されています。

ポイント☞　**暗号キーは間違いなく入力してください。一文字でも間違えて登録するとネットワークエラーの原因になります。もしエラーが発生した場合は、有線LAN を接続してセットアップをやり直してください。**
LEC－V300/W の IP アドレスは 1 つです。次のような接続例で LAN 切替スイッチが「LAN+WLAN」の状態で同一ネットワーク上に有線LAN・無線LAN がある場合には、有線LAN が優先され、無線LAN では通信が行われません。



5-3-6.　その他

表示ランプのコントロール、ActiveXの保存場所指定やポート番号の設定ができます。



①　ランプの設定

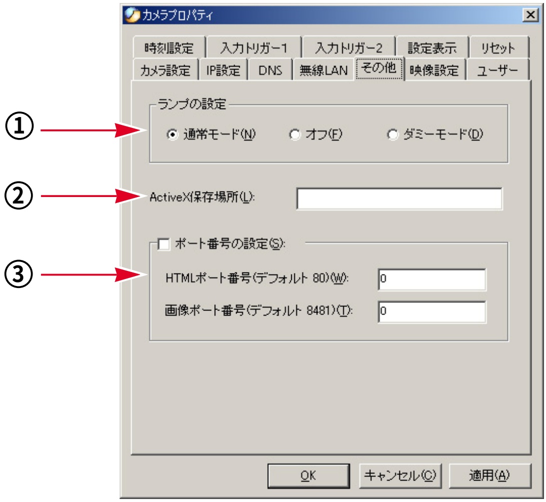
LEDランプの状態でネットワークカメラの動作を把握することができます。基本的に機能が動作している間はLEDランプが点灯した状態にあります。

カメラの正面にある電源とLANアクティブランプの設定ができます。ランプの設定には次の3つから選択できます。

- 通常モード
  - 電源ランプ　：点灯
  - LANアクティブランプ　：データの転送があるとき点滅
- オフ
  - 電源ランプ　：常に消灯
  - LANアクティブランプ　：常に消灯
- ダミーモード
  - 電源ランプ　：点灯
  - LANアクティブランプ　：データの転送の有無にかかわらずランダムに点滅

ポイント☞

- 通常モードまたはダミーモードからオフに切り替えたとき、およびオフに設定された状態でリセットしたときは、電源投入時からランプが消えるまでそれぞれ1分ほどかかります。
- ランプの設定を変えてもカメラへのアクセスには影響ありません。
- リセットもしくは電源投入時には強制的にテスト表示が行われます。



② ActiveXの設定ダウンロードサイト

Windows環境で、Internet Explorerを使用して動画を表示（ActiveXモード）する場合、「Xplug Control」が必要となります。

インストール方法にはCD-ROMから行う方法とwwwサーバに「Xplug Control」を保存して行う方法があります。

※ 詳細は、「3-3-1.「Xplug Control」のインストール」と「7-4. Xplug Controlをwwwサーバからダウンロードする方法」をご参照ください。

この欄には「Xplug Control」を保存したwwwサーバのアドレスを入力してください。

※ 詳細は、「7-4. Xplug Controlをwwwサーバからダウンロードする方法」をご参照ください。

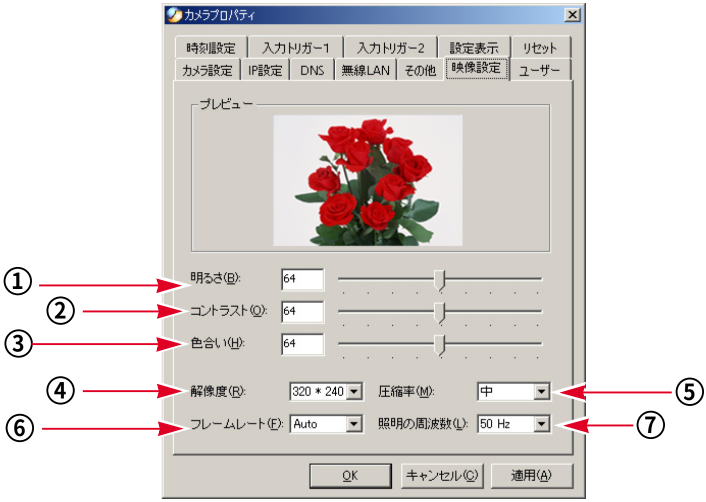
③ ポート番号設定

インターネット接続でルータをご使用の場合、2台以上のカメラを接続してルータをこえたネットワークからカメラにアクセスするとき、それらのカメラに共通のグローバルアドレスが割り振られるため、カメラを特定してアクセスするためにはそれぞれのカメラに個別のポート番号を設定する必要があります。LEC-V300シリーズでは画像伝送に2つのポートを使用します。

※ 詳細は、「7-5. ポート番号の設定」をご参照ください

5-3-7. 映像設定

カメラ映像の明るさ、コントラスト、色合い、解像度、フレームレート、圧縮率の調整と、照明の周波数切り替えができます。



ポイント☞

- 明るさ、コントラスト、色合いの調整はプレビュー画面で確認できます。
- 圧縮率、フレームレート、照明の周波数は「適用」のボタンをクリックして確認してください。

① 明るさ

カメラの明暗の調整です。設定を大きくするほど明るくなります。初期設定では64になっています。つまみをドラッグするか直接数値入力することもできます。設定範囲は、1(最少)から128(最大)です。

② コントラスト

カメラのコントラストレベルの調整です。設定を大きくするほどコントラストが高くなります。初期設定では64になっています。つまみをドラッグするか直接数値入力することもできます。設定範囲は1(最少)から128(最大)です。

③ 色合い

カメラの色合いレベルの調整です。設定を上げると緑が強くなり、設定を下げると赤が強くなります。初期設定では64になっています。つまみをドラッグするか直接数値入力することもできます。設定範囲は1(最少)から128(最大)です。

④ 解像度

カメラの解像度(単位はドット数で、横×縦です)を選択してください。

160×120、320×240、640×480の3種類より選ぶことが出来ます。
※ 工場出荷時は320×240になっています。

⑤ 圧縮率

・画像データのJPEG圧縮には5段階で調節ができます。高い圧縮率を選ぶとビデオの品質は下がります。一般的に圧縮が少ない方がビデオの品質を高いままに保ちます。初期設定は「中」に設定されています。

・圧縮率は画質に反比例しますが、圧縮率を大きくすることで画像の毎秒あたりのフレーム数は大きくなります。

・圧　縮　率（最低）ー（低）ー（中）ー（高）ー（最高）
・画　　　質（最高）ー（高）ー（中）ー（低）ー（最低）
・フレーム数（最低）ー（低）ー（中）ー（高）ー（最高）
画質を優先するとフレーム数が減り動きが遅くなります。
動きを優先するとフレーム数は多くなりますが、画質は粗くなります。

⑥ フレームレート

・ネットワークカメラから送信される画像の毎秒あたりの送信フレーム数の上限を設定します。通常は、初期設定（Auto）でお使いください。

重要　解像度の設定により
・640×480ドット表示のとき、5以上を設定されても、実際のフレーム数は3フレーム以上は上がりません。（最大3フレーム／秒）
・320×240ドット表示のとき、20以上を設定されても、実際のフレーム数は15フレーム以上は上がりません。（最大15フレーム／秒）

ポイント☞　実際に送信されて表示される画像はパソコンの性能やWebブラウザの種類、バージョンまたはネットワーク環境に左右されます。特に普段ネットワークに比較的大きな負荷がかかる環境の場合もしくは複数のユーザーが同時にネットワークカメラにアクセスすることが多い場合はフレームレートの設定を小さくすることをお奨めします。

ポイント☞　フレームレートとは動画表示で更新される画面の数を表します。
例えば画面が1秒間に10回更新されれば10フレーム/秒となります。

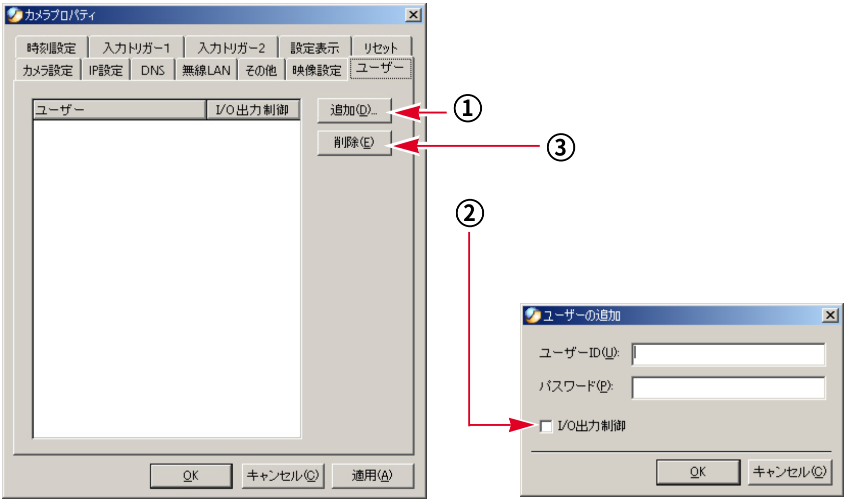
⑦ 照明の周波数

・お客様のご利用になる地域の電源周波数（50Hzか60Hz)を選択してください。

ポイント☞
・電源周波数は地域により異なり、主に東日本が50Hz、西日本が60Hzとなります。よりよい映像画質を得るため、お使いになる地域にあった周波数帯を選択してください。
・周波数が合っていないと画面に照明のちらつきを感じる場合があります。

5-3-8.　ユーザー

ブラウザでネットワークカメラにアクセスするためのユーザー登録ができます。



①　ユーザーの追加(Add User)

- 新規ユーザーを登録するには「追加」ボタンをクリックしユーザーの追加画面を表示させます。ユーザーIDとパスワードを設定しI/O出力のオプションも利用させるかどうかをチェックします。正しく入力できたら「OK」をクリックして登録を完了します。
- 最大64人のユーザーを登録することができます。ユーザーID、パスワードは全て違うものに設定してください。同じユーザーIDは追加できません。
  - ユーザーIDは最大12文字です。
  - パスワードは最大8文字です。

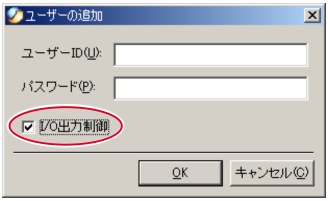
  ※使用できる文字については、「7-10. 半角英数字について」をご参照ください。

重要　同じユーザーIDを入れた場合、上書き保存されて前に登録したユーザーは消去されますので、ご注意ください。

ポイント☞　文字の入力は半角英数字を入力してください。入力文字は大文字、小文字を区別します。例えば、「A」と「a」は別の文字と認識しますのでご注意ください。

② I/O出力制御

ユーザにI /O出力制御についての権限を設定する場合は「I/O出力制御」にチェックを入れてください。



重要

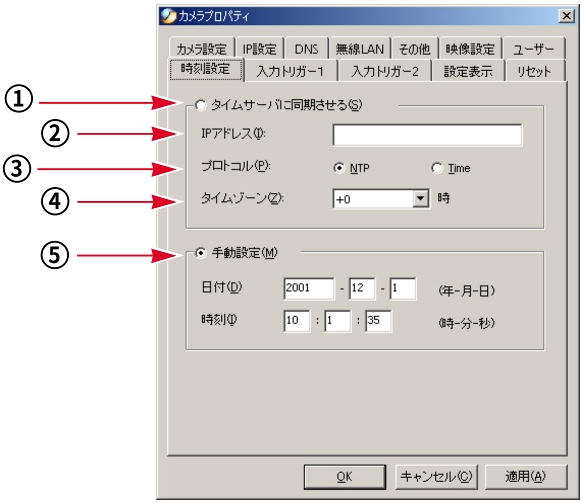
- ユーザー設定は、管理者設定をするまで動作しません。
- ユーザー設定の変更（パスワード、I/O出力制御）はできません。一度そのユーザーを削除して再度設定してください。

③ ユーザーの削除

削除したいユーザをリストより選択し、「削除する」ボタンをクリックします。

5-3-9.　時刻設定

ネットワークカメラは設置場所の時間と日付をアクセスするユーザーに対して表示する機能を持っていますが、その時刻の設定をここで行います。設定方法は手動で時間と日付を設定するか、タイムサーバの情報を利用するかを選択できます。メニュータグより「時刻設定」を選択します。



① タイムサーバに同期させる

「タイムサーバに同期させる」を選択すると、GMTを基準に、10分ごとに正確な時間が自動的に補正されます。

ポイント☞ GMTとはグリニッジ標準時のことで、このGMTからの時差(±12時間以内)をつかって、それぞれ時刻の標準時としています。

② IPアドレス(IP Address:)

・この欄にはタイムサーバのIPアドレスを入力してください。

③ プロトコル(Protocol:)

タイムサーバのプロトコルを設定します。

- 「NTP」又は「Time」の選択ができます。
- N TPは、インターネットで標準的に利用されている、時刻情報プロトコル(RFC-1305)です。回線の速度や経路の負荷変化なども考慮した、高精度な時刻情報が得られます。現在一般的なものはVersion 3の仕様です。 一方、Timeは、イントラネット上の特定のコンピュータをホストとして、その時計を自らの時計と同期させる時計情報プロトコルです。よって、ホストとなるコンピュータの時計がずれていると、それに同期している時計もずれることになります。

④ タイムゾーン(TimeZone:)

- 管理者は必ず現地のタイムゾーンの設定を行ってください。
- 日本のタイムゾーンは+9時間です。
  ※ 詳細は、「7-11. タイムゾーン一覧」をご参照ください。
- タイムゾーンとは世界の地域別標準時間帯です。各国ではGMTからの時差を使って標準時としており同じ時差を使っている地域をタイムゾーンといいます。

⑤ 手動設定

初期設定ではこの「手動設定」が選択されています。

(例)2002年5月21日午後10時20分の場合

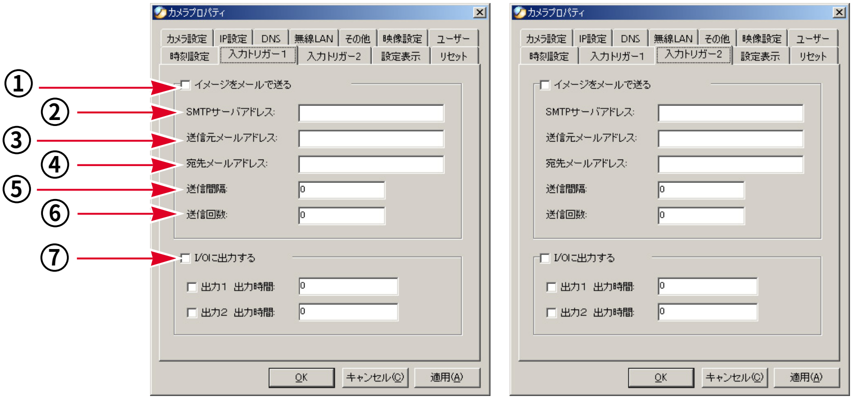
- 日時入力欄に半角数字で「2002-05-21」と入力します。
- 時刻入力欄に24時間表示で「22:20:00」と入力します。

下記のケースの場合は時刻の再設定が必要となります。

- 再起動したとき
- 初期化したとき
- 電源をON/OFFしたとき
- 基本設定で「設定する」をクリックしたとき
- 停電があったとき

5-3-10.　入力トリガー 1/入力トリガー 2

ネットワークカメラのI/O コネクタの設定ができます。I/O コネクタに外部機器を接続して、入力端子が「短絡」「開放」された時に、画像をメールで送ったり、出力端子に電圧を供給することができます。
入力端子は2つあって、入力トリガー1、入力トリガー2のそれぞれについて個別に設定ができます。詳細は、「7-8. I/O コネクタの接続例」をご参照ください。



① 「イメージをメールで送る」

- チェックボックスにチェックをするとI/O コネクタに連動した画像のメール送信が可能になります。

注意　画像をメールで送る場合にはDNS を設定してください。
※ メールの内容については、「7-9. I/O コネクタを使用してイメージをメールで送る方法」をご参照ください。

② 「SMTP サーバアドレス」は、電子メールを送信するために使います、お使いの送信用メールサーバアドレスを入力します。

③ 「送信元メールアドレス」は送り主の電子メールアドレスです。

④ 「宛先メールアドレス」は送り先相手の電子メールアドレスです。

⑤ 「送信間隔」は画像を送信する間隔を設定します。
もし10秒と設定した場合は送信されてから次の送信までが10秒の間隔になります。

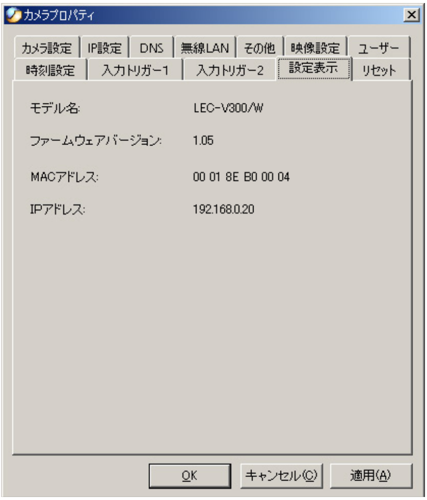
⑥ 「送信回数（1～32,767回まで）」で設定した回数だけ相手にメールが送られます。

⑦ 「I/O に出力」を選択すると、I/O コネクタ IN1（入力1）/IN2（入力2）に連動してOUT1（出力1）/OUT2（出力2）に電圧を出力します。出力1/出力2 出力時間の欄には、入力があってからの出力時間（1～32,767秒まで）を秒単位で入力してください。

5-3-11.　設定表示

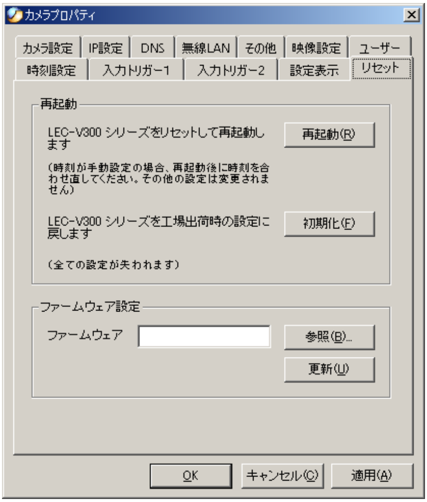
「設定表示」を選択すると、次の項目が表示されます。

- モデル名
- ファームウェアバージョン
- MAC アドレス
- IP アドレス



5-3-12.　リセット

ネットワークカメラの設定リセットやファームウェアのアップデートを行います。



・再起動

「再起動」ボタンをクリックすると「再起動しますか？」のダイヤログボックスが表示されます。再起動するときは「はい」をクリックしてください。中止する場合は「いいえ」をクリックしてください。

重要　時刻設定が手動設定の場合、時刻を合わせ直してください。その他の設定は変更されません。

・初期化

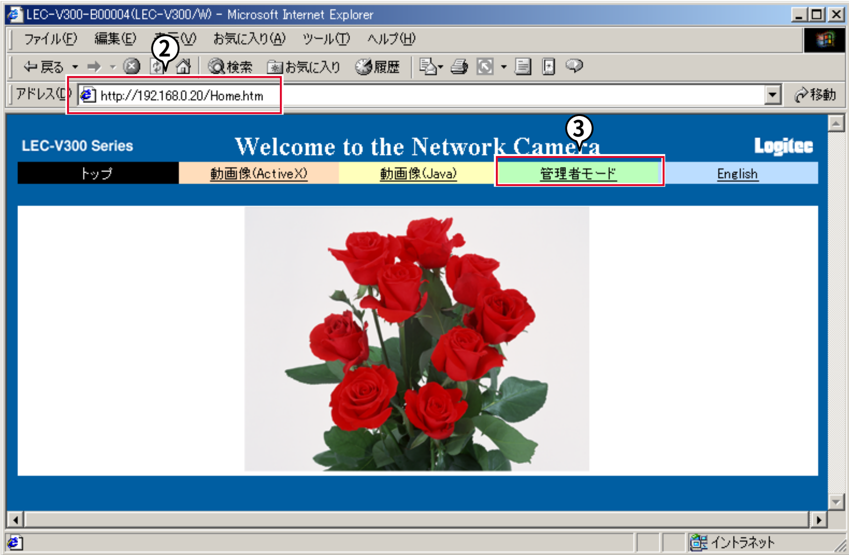
「初期化」ボタンをクリックすると、カメラの設定を工場出荷時に戻すことができます。
「工場出荷時の設定に戻しますか？」のダイヤログボックスが表示されます。工場出荷時の設定に戻すときは「はい」をクリックしてください。中止するときは「いいえ」をクリックしてください。
※ 工場出荷時の設定に関しては、「7-12. 出荷時の設定値」をご参照ください。

・ファームウェア設定

ネットワークカメラのファームウェアの更新に使用します。
※ 詳細は、「7-7. ファームウェアのアップデート方法」をご参照ください。

5-4.　ブラウザを利用したネットワークカメラの設定

5-4-1.　起動方法



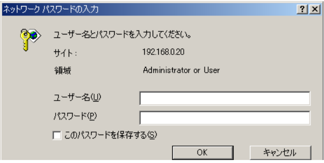
①　ブラウザを起動します。

②　ブラウザのアドレスバーに
“http://カメラに設定したIPアドレス”(例：http://192.168.0.20)を入力して「エンター」を押します。トップページ画面が表示されます。

③　「管理者モード」をクリックすると、基本設定画面が表示されます。

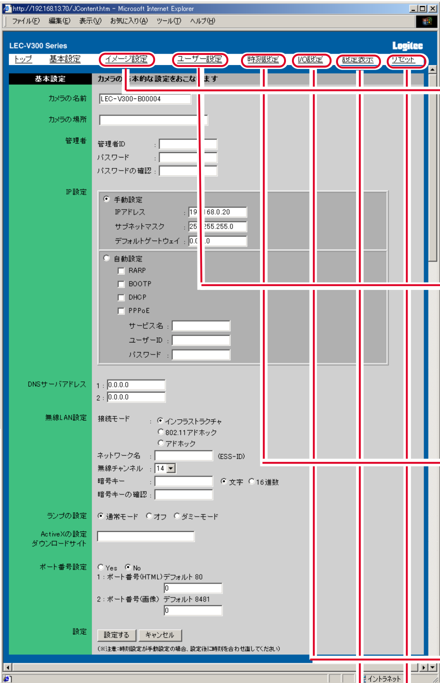
5-4-2.　設定画面の展開

ログイン画面

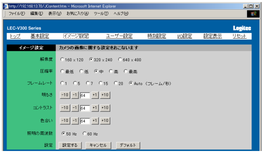


※管理者を設定すると認証画面が表示されます。管理者IDとパスワードを入力してください。

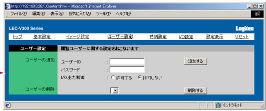
5-4-3.　基本設定



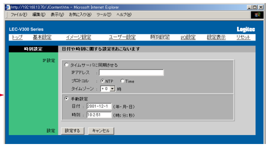
5-4-4.　イメージ設定



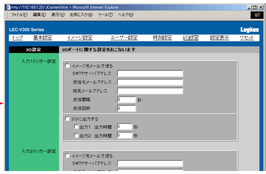
5-4-5.　ユーザー設定



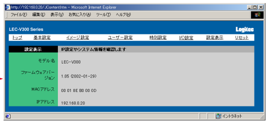
5-4-6.　時刻設定



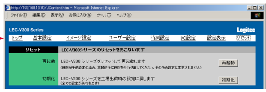
5-4-7.　I/O 設定



5-4-8.　設定表示

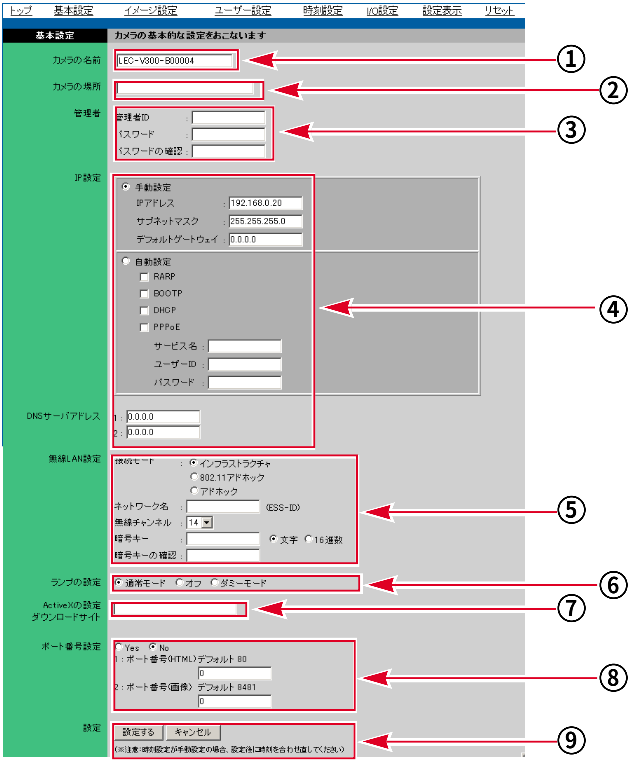


5-4-9.　リセット



5-4-3.　基本設定

管理者モードをクリックすると設定画面「基本設定」が表示されます。



①　カメラの名前（Camera Name）

この欄には「LEC-V300シリーズ」の任意の名前を入力します。製品名を入力する必要はありません。お好きな名前をカメラにつけてください。初期設定では「LEC-V300-xxxxxx」とxの部分にMACアドレスの下6桁が入力された状態になっています。名称の最大入力文字数は半角英数文字入力で32文字までです。（使用できる文字については「7-10. 半角英数字について」をご参照ください）

②　カメラの場所（Location）

この欄には「LEC-V300シリーズ」を利用している場所・地域などを入力してください。初期設定は未記入です。最大入力文字数は半角英数文字入力で64文字までです。（使用できる文字については「7-10. 半角英数字について」をご参照ください）

③　管理者（Admin）

この欄には管理者IDとその「パスワード」を記入します。パスワードは確認のため、最初の「パスワード」記入欄と、「確認用パスワード」記入欄に、必ず同じパスワードを入力してください。初期設定ではこの管理者欄は未記入のままですので、半角英数文字入力で最大文字数12文字までで管理者IDを、そしてパスワード（英数文字入力で最大文字数8文字）を入力してください。この設定はできるだけ早めに行うことをお勧めします。また、管理者IDとパスワードを設定するまでアクセス制限の機能が動作しないようになっています。（使用できる文字については「7-10. 半角英数字について」をご参照ください）

セキュリティ機能

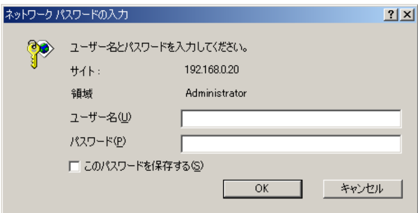
LEC-V300シリーズのネットワークカメラには接続されるユーザーを規制するためにIDとパスワードでアクセス保護機能を搭載しております。このアクセス保護機能は3段階に権限レベルを設けています。権限レベルによって表示できるページ、機能については次の通りです。

権限レベル	表示画面、機能
管理者レベル	すべての画面、I/O出力制御機能
ユーザーレベル（I/O出力制御を許可する）	管理者モード以外の画面とI/O出力制御機能
ユーザーレベル（I/O出力制御を許可しない）	管理者モード以外の画面

※ I/O出力制御機能とは「4-1-3. 動画像（ActiveX）画面」、「4-1-4. 動画像（Java）画面」の中にある、出力制御1/出力制御2のON/OFFの操作のことです。

注意　Netscape 6.xをお使いの場合、動画表示画面でI/O出力制御機能が動作しません。

注意　管理者を設定すると、管理者モードを選択した時に認証画面が表示されます。管理者IDとパスワードを入力してください。

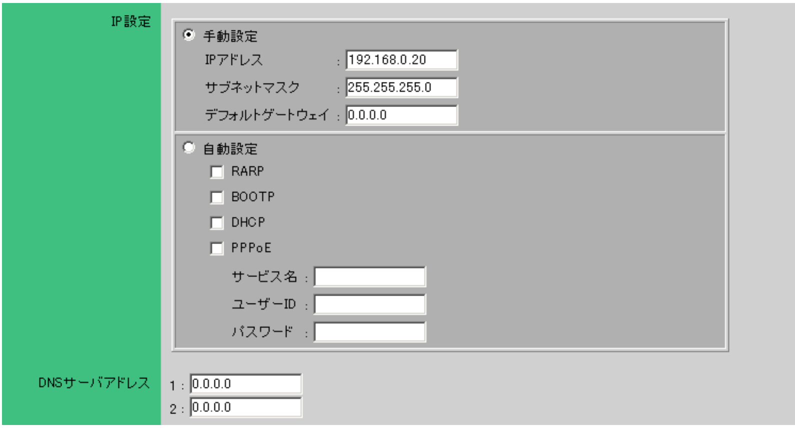


注意　管理者IDとパスワードは忘れないようにしてください。

④ IPアドレスの設定

手動設定（Manually Assign）

ご利用のネットワーク環境が固定的にIPアドレスを割り振るような環境の場合は､｢手動入力｣を選択してIPアドレス､サブネットマスクなど必要な情報を各欄に入力してください｡



工場出荷時
IP：192.168.0.20
サブネットマスク：255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ：0.0.0.0

自動設定（Assign Automatically Using）

ご利用のネットワーク環境から動的なIPアドレスを割り当てる場合は｢自動設定｣を選択して、次の4つの中からIPアドレスの取得手順を選択します。

- **RARP（Reverse Address Resolution Protocol）**

  RARPサーバを使って、MACアドレスからIPアドレスを取得するプロトコルです。これを使用するにはRARPサーバおよび、MACアドレスとIPアドレスの対応表を用意しておく必要があります。詳細に関してはネットワーク管理者に確認してください。

- **BOOTP（BOOTstrap Protocol）**

  DHCPの前身のプロトコルででBOOTPサーバから自動的にIPアドレスを取得します。ネットワーク上にBOOTPサーバを用意しておく必要があります。詳細に関してはネットワーク管理者に確認してください。

  たとえば、ADSLモデムなどによるインターネット接続サービスをご利用の場合、ISP（Internet Service Probidaer）からIPアドレスなどの情報が割り当てられます。

• **DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）**

ブロードバンドルータやISDNルータなど、DHCPサーバからIPアドレスなどの情報を自動的に取得します。この場合、ネットワーク上にDHCPサーバを用意しておく必要があります。

• **PPPoE（Point-to-Point Protocol over Ethernet）**

PPPはダイヤルアップ接続において、ユーザIDとパスワードを用いて認証し、接続する際に用いられるプロトコルです。PPPoEは、PPPをイーサネット上に設定するためのプロトコルです。

たとえば、ADSLモデムなどによるインターネット接続サービスをご利用の場合、ISP（Internet Service Probidaer）からIPアドレスなどの情報が割り当てられます。

• **「サービス名（プロバイダ名）」**　：ご契約されているプロバイダ名を入力ください。
半角英数文字で32文字以内で入力ください。

• **「ユーザID（認証ID）」**　：プロバイダから発行される接続認証用のIDを入力ください。

• **「パスワード」**　：プロバイダから発行される接続認証用パスワードを入力ください。

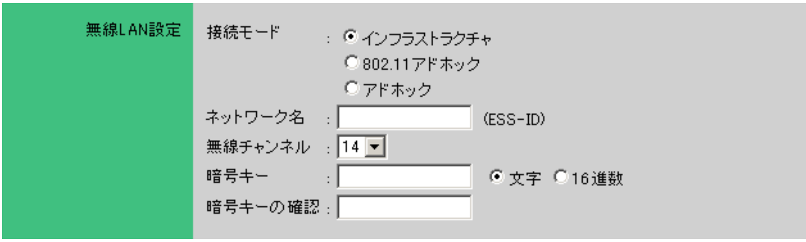
DNSサーバアドレス

DNSサーバは、ドメイン名をIPアドレスに変換してくれるサーバです。I/O設定でイメージをメールで送るときは、ネットワーク管理者もしくはプロバイダから指定されたDNSサーバアドレスを4つの数字（0～255）と3つのピリオドで入力してください。DNSサーバアドレスは2つまで設定できます。

※DNSに関しては「7-15. ネットワークカメラ用語辞典」をご参照ください。

注意　DNSサーバアドレスが1つの場合は“ DNSサーバアドレス1 ”のみに入力して、“ DNSサーバアドレス2 ”はそのままでご使用ください。

⑤　無線LANの設定（LEC-V300/Wのみ）



接続モード

- 「接続モード」で無線LAN環境のタイプを決定します。インフラストラクチャモード、802.11アドホックモード、アドホックモードの3つの接続モードがあり、初期設定は「インフラストラクチャモード」が選択されています。

  ※ 詳細は、「7-12. 出荷時の設定値（工場出荷初期値）」をご参照ください。

- 無線LANの接続モードを設定したらリアパネルのLAN切替スイッチで「LAN＋WLAN」もしくは「WLAN」に設定し、ワイヤレスLANを有効にするためにリセットボタンを押して再起動をしてください。

  ※ 詳細は、「5-4-9. リセット」をご参照ください。

ネットワーク名

- この欄にはLEC-V300/Wをどの無線LANで利用するのかESS-ID（Extended Service Set ID）を入力します。
- ESS-IDとは、無線LANの国際標準規格IEEE802.11で固定した相手先との接続を実現するための識別データです。つまり、ESS-IDが一致している端末同士が無線通信できます。無線通信を行いたい端末同士には、同じESS-IDを設定してください。
- 初期設定ではこの欄は未記入のままです。未記入のままだと、どのアクセスポイントからでもLEC-V300/Wに接続できます（WEP機能が設定されていない場合のみ）。LEC-V300/Wを特定のアクセスポイントからだけ接続させるにはアクセスポイントの「ESS-ID」とLEC-V300/Wの「ESS-ID」を同じに設定しておきます。名称の最大入力文字数は半角英数文字入力で32文字までです。

  ※ 使用できる文字については、「7-10. 半角英数字について」をご参照ください。

- LEC-V300/Wをアドホックモードのワークグループで接続するには「無線チャンネル」と「ESS-ID」を接続するパソコン側と同じに設定してください。
- ネットワークカメラの「アドホックモード」は「802.11アドホックモード」と「アドホックモード」の2つのモードをサポートしています。どちらを使用するかはお使いのネットワーク環境により設定してください。また、お使いのワイヤレスネットワークのドライバーによっても、どちらのアドホックモードが使えるかが変わります。まれに両方のアドホックモードをサポートしているドライバーもあります。しかし、当製品で定義し

ている「802.11 アドホックモード」と「アドホックモード」の呼び方は各メーカーの製品によって異なる場合がありますので、両方のアドホックモードで動作をテストして、正常に動作する方のモードをご利用下さい。

無線チャンネル

プルダウンメニューより無線チャンネルを選択できます。チャンネルとは無線LAN機器（アクセスポイント、カード）とLEC-V300/Wの間で通信を行うための周波数を指します。初期設定は14チャンネルです。

注意　インフラストラクチャモードでアクセスポイントと接続するときは、チャンネルの設定は必要ありません。アクセスポイントが使用中のチャンネルを自動的に探します。

暗号キー

一般的にワイヤレスネットワークは有線タイプのネットワークに比べて傍受される危険性を伴いますが、IEEE802.11b規格に基づいたWEP（Wired Equivalent Privacy）を使うことによって外部からの傍受を困難にし、有線タイプのネットワークとはぼ同等の利用条件を満たすことができます。暗号キーを有効にするには、まず無線LANにどのタイプの暗号キーが利用されているかを確認し、文字入力（ASCII）又は16進数（HEX）のチェックボックスを選択してから暗号キーを入力します。確認用の「暗号キーの確認」にも同じ暗号キーを入力してください。設定しない場合は何も入力しないでください。

文字入力（ASCII）

64bitの暗号キー（※）を設定するには、半角英数文字を5文字入力します。

※ お使いのアクセスポイント、無線LANによっては40ビットと表記されています。

例：「ABCde」

128bitに暗号キーを設定するには、半角英数文字を13文字入力を入力します。

例：「abcdeFGHKLMNR」

ポイント☞　文字入力の場合:半角英数字を入力してください。入力文字は大文字小文字の区別をします。例えば「A」と「a」は別の文字と認識しますのでご注意ください。

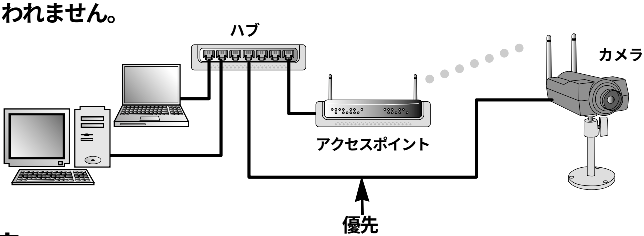
※ 入力できる文字については、「7-10. 半角英数字について」をご参照ください。

16進数入力フォーマット（HEX）

64bitの暗号キー（※）を設定するには、10桁の16進数を入力します。128bitの暗号キーを設定するには、26桁の16進数を入力します。暗号キーの確認欄には、暗号キー欄で入力した暗号を確認のためもう一度入力してください。インフラストラクチャモードでご利用の場合は、「LEC-V300/W」とアクセスポイント共に同じ物に設定してください。「802.11アドホックモード」、又は「アドホックモード」でご利用の場合は、お使いのパソコンと同じ暗号キーを設定してください。初期設定での暗号キーは、無効になっています。有効にするには暗号キーの入力が必要です。

※ お使いのアクセスポイント、無線LANによっては40ビットと表記されています。

ポイント☞ 暗号キーは間違いなく入力してください。一文字でも間違えて登録するとネットワークエラーの原因になります。もしエラーが発生した場合は、有線LANを接続してセットアップをやり直してください。
LEC-V300/WのIPアドレスは1つです。次のような接続例でLAN切替スイッチが「LAN+WLAN」の状態で同一ネットワーク上に有線LAN・無線LANがある場合には、有線LANが優先され、無線LANでは通信が行われません。



⑥ ランプの設定

LEDランプの状態でネットワークカメラの動作を把握することができます。基本的に機能が動作している間はLEDランプが点灯した状態にあります。

カメラの正面にある電源とLANアクティブランプの設定ができます。ランプの設定には次の3つから選択できます。

- 通常モード
  電源ランプ　：点灯
  LANアクティブランプ　：データの転送があるとき点滅
- オフ
  電源ランプ　：常に消灯
  LANアクティブランプ　：常に消灯
- ダミーモード
  電源ランプ　：点灯
  LANアクティブランプ　：データの転送の有無にかかわらずランダムに点滅

ポイント☞
- 通常モードまたはダミーモードからオフに切り替えたとき、およびオフに設定された状態でリセットしたときは、電源投入時からランプが消えるまでそれぞれ1分ほどかかります。
- ランプの設定を変えてもカメラへのアクセスには影響ありません。
- リセットもしくは電源投入時には強制的にテスト表示が行われます。

⑦ Activexの設定ダウンロードガイド

Windows環境でInternet Explorerを使用して、動画を表示(ActiveX モード)する場合、「Xplug Control」が必要となります。

インストール方法にはCD-ROMから行う方法とwwwサーバに「Xplug Control」を保存して行う方法があります。

※ 詳細は、「3-3-1. 「Xplug Control」のインストール」と「7-4. Xplug Controlをwwwサーバからダウンロードする方法」をご参照ください。

この欄には「Xplug Control」を保存したwwwサーバのアドレスを入力してください。
※ 詳細は、「7-4. Xplug Controlをwwwサーバからダウンロードする方法ご参照ください。

⑧ ポート番号設定

インターネット接続でルータをご使用の場合、2台以上のカメラを接続してルータをこえたネットワークからカメラにアクセスするとき、それらのカメラに共通のグローバルアドレスが割り振られるため、カメラを特定してアクセスするためにはそれぞれのカメラに個別のポート番号を設定する必要があります。LEC-V300シリーズでは画像伝送に2つのポートを使用します。

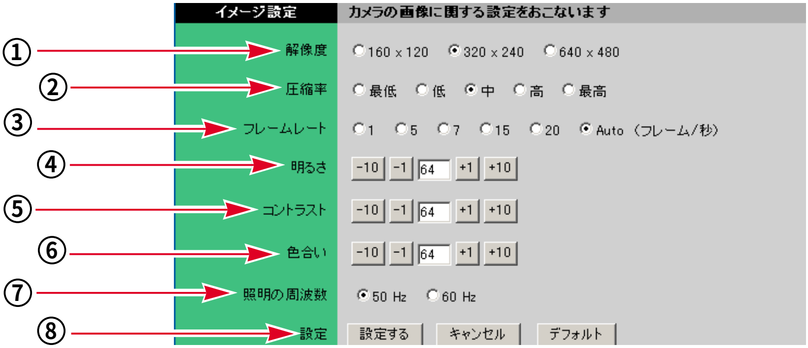
※ 詳細は、「7-2. ポート番号の設定」をご参照ください

⑨ 設定する/キャンセル

- 設定が全て問題なく入力できたら「設定する」ボタンをクリックしてカメラ本体に登録します。
- 「キャンセル」ボタンをクリックすれば入力した数値などのデータは前に設定した状態に戻ります。
- 時刻設定が手動の場合、設定後に時刻の再設定が必要です。

5-4-4.　イメージ設定

「イメージ設定」はLEC-V300シリーズから取り込む映像の設定を行います。
「イメージ設定」をメニューバーから選択してください。



①　映像解像度

カメラの解像度（単位はドット数で、横×縦です）を選択してください。

160×120、320×240、640×480の3種類より選ぶことが出来ます。
※ 工場出荷時は320×240になっています。

②　圧縮率

- 画像データのJPEG圧縮は5段階で調節ができます。高い圧縮率を選ぶとビデオの品質は下がります。一般的に圧縮が少ない方がビデオの品質を高いままに保ちます。初期設定はMedium（中間）に設定されています。
- 圧縮率は画質に反比例しますが、圧縮率を大きくすることで画像の毎秒あたりのフレーム数は多くなります。

  - 圧　縮　率（最低）－（低）－（中）－（高）－（最高）
  - 画　　　質（最高）－（高）－（中）－（低）－（最低）
  - フレーム数（最低）－（低）－（中）－（高）－（最高）

  画質を優先するとフレーム数が減り動きは遅くなります。

  動きを優先するとフレーム数は多くなりますが画質は粗くなります。

③ フレームレート

ネットワークカメラから送信される画像の毎秒あたりの送信フレーム数の上限を設定します。通常は、初期設定（Auto）でお使いください。

重要

解像度の設定により

- 640×480ドット表示のとき、5以上を設定されても、実際のフレーム数は3フレーム以上は上がりません。（最大3フレーム／秒）
- 320×240ドット表示のとき、20以上を設定されても、実際のフレーム数は15フレーム以上は上がりません。（最大15フレーム／秒）

ポイント☞ 実際に送信されて表示される画像はパソコンの性能やWebブラウザの種類、バージョンまたはネットワーク環境に左右されます。特に普段ネットワークに比較的大きな負荷がかかる環境の場合もしくは複数のユーザーが同時にネットワークカメラにアクセスすることが多い場合はフレームレートの設定を小さくすることをお奨めします。

ポイント☞ フレームレートとは動画表示で更新される画面の数を表します。
例えば画面が1秒間に10回更新されれば10フレーム/秒となります。

④ 明るさ

カメラの明暗の調整です。設定を大きくするほど明るくなります。初期設定では64になっています。つまみをドラッグするか直接数値入力することもできます。設定範囲は、1（最少）から128（最大）です。

⑤ コントラスト

カメラのコントラストレベルの調整です。設定を大きくするほどコントラストが高くなります。初期設定では64になっています。つまみをドラッグするか直接数値入力することもできます。設定範囲は1（最少）から128（最大）です。

⑥ 色合い

カメラの色合いレベルの調整です。設定を上げると緑が強くなり、設定を下げると赤が強くなります。初期設定では64になっています。つまみをドラッグするか直接数値入力することもできます。設定範囲は1（最少）から128（最大）です。

⑦ 照明の周波数

お客様のご利用になる地域の電源周波数（50Hzか60Hz)を選択してください。

ポイント☞

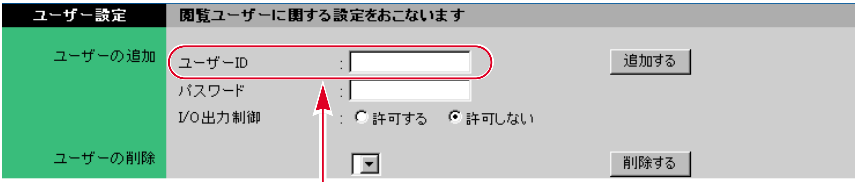
- 電源周波数は地域により異なり、主に東日本が50Hz、西日本が60Hzとなります。よりよい映像画質を得るため、お使いになる地域にあった周波数帯を選択してください。
- 周波数が合っていないと画面に照明のちらつきを感じる場合があります。

⑧ 設定する／キャンセル／デフォルト

- 設定が全て問題なく入力できたら「設定する」ボタンをクリックしてカメラ本体に登録します。「キャンセル」ボタンをクリックすると入力した数値などのデータは変更前の状態に戻ります。
- 「デフォルト」ボタンをクリックするとイメージ設定のみ初期値（工場出荷状態）に戻します。

5-4-5. ユーザー設定

ユーザー設定では管理者がユーザーを管理することにより、ネットワークカメラを公開することが出来ます。メニューバーより「ユーザー設定」を選択すると次の図のような画面が表示されます。



ユーザーID (User Name:)
ユーザーIDはこの欄に入力してください。

① ユーザーの追加 (Add User)

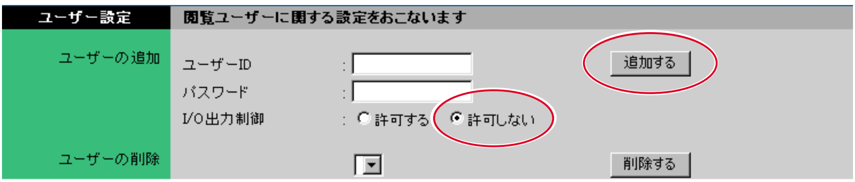
最大64人のユーザーを登録することができます。ユーザーID、パスワードは全て違うものに設定してください。同じユーザーIDは追加できません。

・ユーザーIDは最大12文字です。
・パスワードは最大8文字です。
※ 使用できる文字については、「7-10. 半角英数字について」をご参照ください。

ポイント☞ 文字の入力は半角英数字を入力してください。入力文字は大文字、小文字を区別します。例えば、「A」と「a」は別の文字と認識しますのでご注意ください。

② I/O出力制御

- ユーザーにI/O 出力制御についてON/OFFの権限を設定します。
- ユーザーごとに「許可する」・「許可しない」を設定します。
- 必要事項を入力してユーザーを追加する場合は、「追加する」ボタンをクリックします。

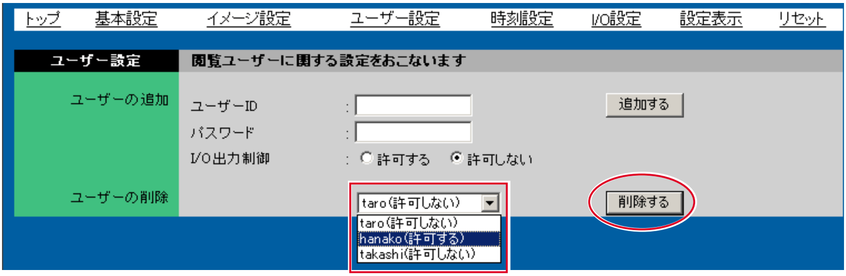


重要

・ユーザー設定は、管理者設定をするまで動作しません。
・ユーザー設定の変更(パスワード、I/O出力制御)はできません。一度削除して再度設定してください。

③　ユーザーの削除

削除したいユーザーをプルダウンメニューより選択し、「削除する」ボタンをクリックします。



④　ユーザー設定の完了

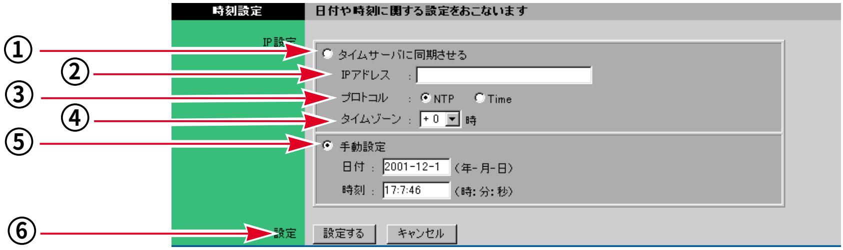
ユーザー設定が完了すると、Webブラウザでカメラの映像を見る時に、認証画面が表示されます。

※ 詳細は、「5-4-2. 設定画面の展開」のログイン画面をご参照ください。

重要　管理ID、パスワードが設定されているとユーザーID、パスワードによるアクセス制限がかかりません。

5-4-6. 時刻設定

ネットワークカメラは設置場所の時間と日付をアクセスするユーザーに対して表示する機能を持っていますが、その時刻の設定をここで行います。設定方法は手動で時間と日付を設定するか、タイムサーバの情報を利用するかを選択できます。メニュータグより「時刻設定」を選択します。



① タイムサーバに同期させる

「タイムサーバに同期させる」を選択すると、GMTを基準に、10分ごとに正確な時間が自動的に補正されます。

ポイント☞ GMTとはグリニッジ標準時のことで、このGMTからの時差（±12時間以内）をつかって、それぞれ時刻の標準時としています。

② IPアドレス（IP Address:）

- この欄にはタイムサーバのIPアドレスを入力してください。

③ プロトコル（Protocol:）

タイムサーバのプロトコルを設定します。

- 「NTP」又は「Time」の選択ができます。
- N TPは、インターネットで標準的に利用されている、時刻情報プロトコル（RFC-1305）です。回線の速度や経路の負荷変化なども考慮した、高精度な時刻情報が得られます。現在一般的なものはVersion 3の仕様です。 一方、Timeは、イントラネット上の特定のコンピュータをホストとして、その時計を自らの時計と同期させる時計情報プロトコルです。よって、ホストとなるコンピュータの時計がずれていると、それに同期している時計もずれることになります。

④ タイムゾーン（TimeZone:）

- 管理者は必ず現地のタイムゾーンの設定を行ってください。
- 日本のタイムゾーンは+9時間です。
  ※ 詳細は、「7-11. タイムゾーン一覧」をご参照ください。
- タイムゾーンとは世界の地域別標準時間帯です。各国ではGMTからの時差を使って標準時としており同じ時差を使っている地域をタイムゾーンといいます。

⑤ 手動設定

初期設定ではこの「手動設定」が選択されています。

（例）2002年5月21日午後10時20分の場合

- 日時入力欄に半角数字で「2002-05-21」と入力します。
- 時刻入力欄に24時間表示で「22：20：00」と入力します。

下記のケースの場合は時刻の再設定が必要となります。

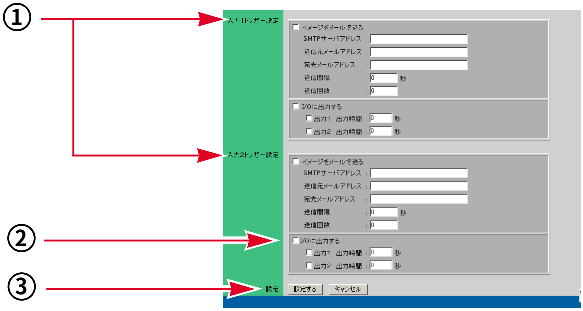
- 再起動したとき
- 初期化したとき
- 電源をON/OFFしたとき
- 基本設定で「設定する」をクリックしたとき
- 停電があったとき

⑥ 設定する/キャンセル

設定が全て問題なく入力できたら「設定する」ボタンをクリックして登録します。
「キャンセル」ボタンをクリックすると、入力した数値などのデータは変更前の状態に戻ります。

5-4-7. I/O 設定

ネットワークカメラのI/O コネクタの設定ができます。I/O コネクタに外部機器を接続して、入力端子が「短絡」「開放」された時に、画像をメールで送ったり、出力端子に電圧を供給することができます。
入力端子は2 つあって、入力トリガー1、入力トリガー2 のそれぞれについて個別に設定ができます。詳細は、「7-8. I/O コネクタの接続例」をご参照ください。



① 入力1/入力2トリガー設定

- 「SMTP サーバアドレス」は、電子メールを送信するために使います、お使いの送信用メールサーバアドレスを入力します。
- 「送信元メールアドレス」は送り主の電子メールアドレスです。
- 「宛先メールアドレス」は送り先相手の電子メールアドレスです。
- 「送信間隔」は画像を送信する間隔を設定します。

  もし10秒と設定した場合は送信されてから次の送信までが10秒の間隔になります。
- 「送信回数（1～32,767 回まで）」で設定した回数だけ相手にメールが送られます。

② 「I/O に出力」を選択すると、I/O コネクタ IN1（入力1）/IN2（入力2）に連動して OUT1（出力1）/OUT2（出力2）に電圧を出力します。出力1/出力2 出力時間の欄には、入力があってからの出力時間（1～32,767 秒まで）を秒単位で入力してください。

注意

画像をメールで送る場合にはDNS を設定してください。
※ メールの内容については、「7-9. I/O コネクタを使用して画像をメールで送る方法」をご参照ください。

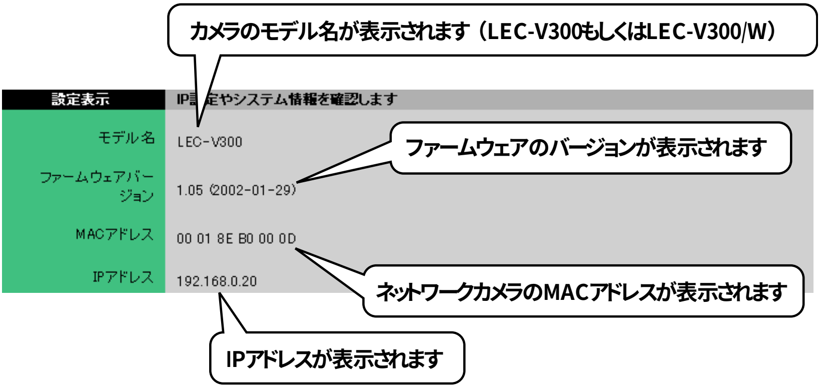
③ 設定する/キャンセル

設定が全て問題なく入力できたら「設定する」のボタンをクリックしてカメラ本体に登録します。

「キャンセル」のボタンをクリックすると、入力した数値などのデータは変更前の状態に戻ります。

5-4-8.　設定表示

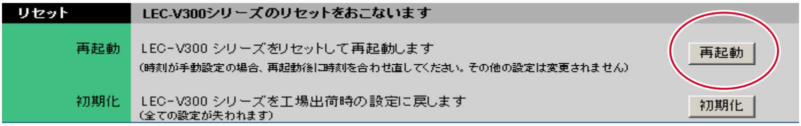
設定表示はLEC-V300シリーズのIP設定やシステム情報を表示します。「管理者モード」より「設定表示」をクリックすると次のような画面が現れます。



5-4-9.　リセット

①　再起動：

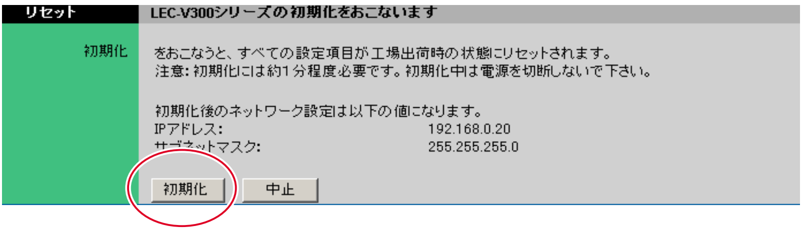
ネットワークカメラカメラを再起動します。



重要　時刻設定が手動設定の場合、時刻を合わせなおしてください。
その他の設定は変更されません。

②　初期化：

「初期化」はすべての設定を工場出荷の設定に戻します。
「初期化」をするときは「初期化」のボタンをクリックします。中止する場合「中止」ボタンをクリックするとリセット画面に戻ります。



・［初期化］を実行した場合は必ず、ネットワークの設定を見直してください。
工場出荷時の設定ではお使いの環境で利用できない場合があります。